



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成18年6月調査分)

景気の現状判断DI

	平成18年3月	平成18年6月	前回調査比
茨城県	53.1	52.2	0.9
県北地域	46.6	49.2	+2.6
県央地域	54.5	52.2	2.3
鹿行地域	51.3	55.9	+4.6
県南地域	57.6	52.1	5.5
県西地域	55.7	51.7	4.0

景気の先行き判断DI

	平成18年3月	平成18年6月	前回調査比
茨城県	57.1	52.6	4.5
県北地域	51.7	53.8	+2.1
県央地域	55.9	51.8	4.1
鹿行地域	59.3	53.0	6.3
県南地域	64.0	56.8	7.2
県西地域	54.4	47.9	6.5

平成18年6月

茨城県企画部統計課

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.htm>

目 次

調査の概要	1
調査結果の概要	3
1 全県の動向	3
（1）景気の現状判断D I	3
（2）景気の先行き判断D I	4
2 地域別の動向	5
（1）景気の現状判断D I	5
（2）景気の先行き判断D I	7
3 回答率	10
景気の判断理由	11
1 景気の現状判断理由	11
2 景気の先行き判断理由	21
3 その他の意見	31

調査の概要

1 調査の目的

経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

平成18年3月31日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	39	37	36	189
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	16	18	19	86
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成18年3月調査の調査期間は平成18年3月1日から3月30日である。

5 利用上の注意

- (1) 景気動向指数(DI)は景気の方角性を判断するものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

景気動向指数(DI)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気動向指数(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1 \times 15.0) + (0.75 \times 27.0) + (0.5 \times 25.0) + (0.25 \times 11.0) + (0 \times 22.0) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \times 100) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気の上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは52.2となった。「やや良くなっている」の回答構成比が減少したため、3月調査分より0.9ポイント低下したものの、横這いを表す50を3期連続で上回った。業種別にみると、家計動向関連DIは3月調査分を上回ったものの、企業動向関連DI及び雇用関連DIは3月調査分を下回った。

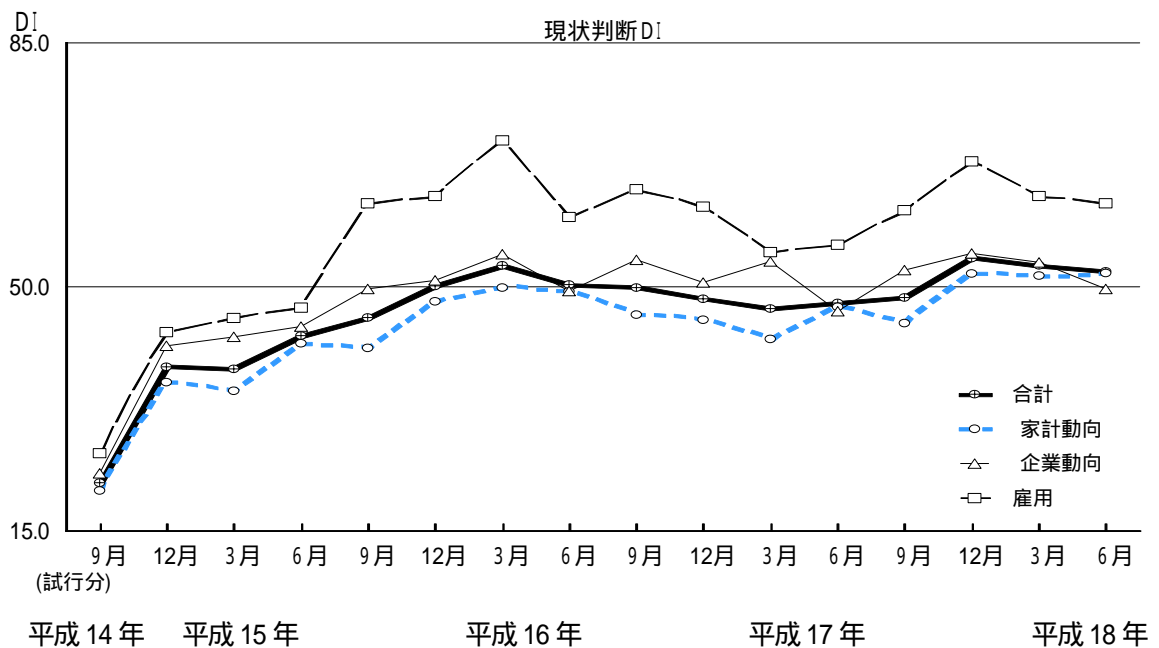
表1 - 1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月	平成18年 6月
合計		47.7	48.5	54.1	53.1	52.2
家計動向関連		47.1	44.8	51.9	51.6	52.0
小売関連		47.7	47.4	50.7	53.3	52.4
飲食関連		50.0	45.0	53.6	61.3	53.6
サービス関連		44.4	40.9	51.5	46.3	50.6
住宅関連		61.1	58.3	61.1	63.9	58.3
企業動向関連		46.5	52.4	54.8	53.5	49.7
農林水産業		43.8	46.9	50.0	43.8	43.8
製造業		45.8	50.0	53.2	51.0	49.0
非製造業		48.3	57.8	58.6	60.0	52.6
雇用関連		56.0	61.0	68.0	63.0	62.0

表1 - 2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年 6月	0.3%	21.0%	53.5%	19.6%	5.6%
平成17年 9月	1.4%	22.0%	51.8%	18.8%	6.0%
平成17年 12月	4.5%	29.6%	47.1%	15.8%	3.1%
平成18年 3月	2.8%	29.5%	48.6%	15.6%	3.5%
平成18年 6月	3.1%	22.7%	56.9%	14.6%	2.7%

図1 - 1 景気の現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは52.6となった。「良くなっている」「やや良くなっている」の回答構成比が減少し、「やや悪くなっている」の回答構成比が増加したため、3月調査分より4.5ポイント低下したものの、横這いを表す50を4期連続で上回った。業種別にみると、企業動向関連DIは3月調査分を上回ったものの、家計動向関連DI及び雇用関連DIは3月調査分を下回った。

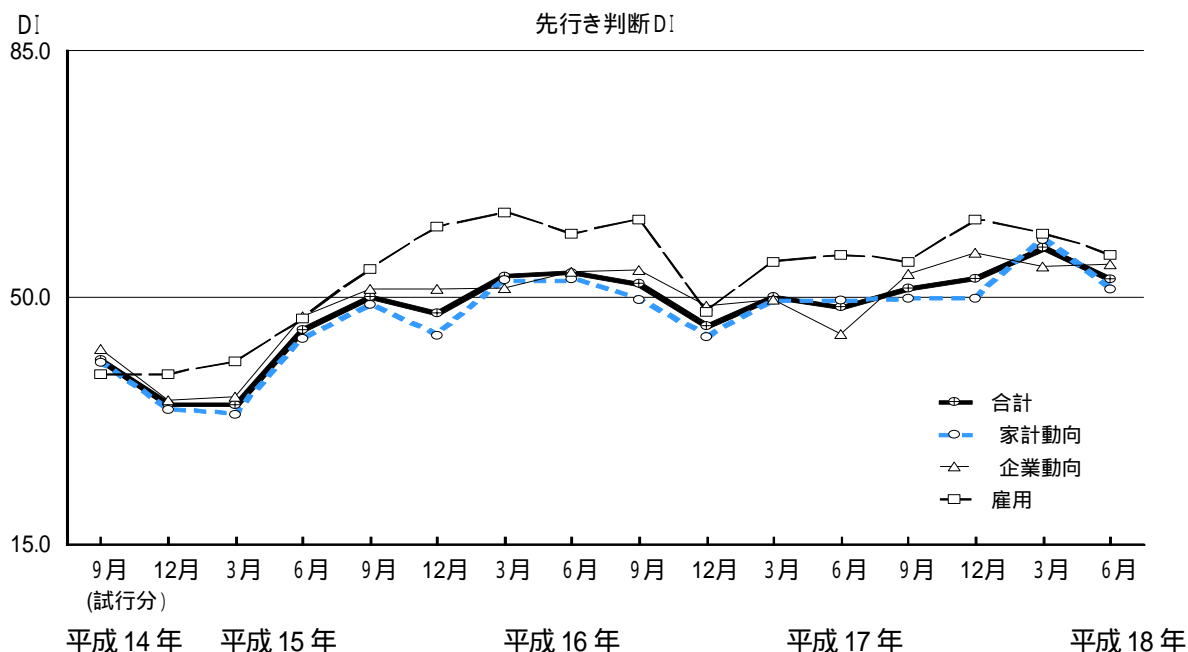
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月	平成18年 6月
合計		48.7	51.3	52.7	57.1	52.6
家計動向関連		49.6	49.9	49.9	58.2	51.2
小売関連		50.8	47.8	52.8	58.8	52.1
飲食関連		48.7	47.5	42.9	68.8	50.0
サービス関連		47.8	51.0	48.1	54.7	49.7
住宅関連		58.3	61.1	58.3	61.1	61.1
企業動向関連		44.8	53.3	56.3	54.4	54.7
農林水産業		50.0	40.6	50.0	53.1	53.1
製造業		39.6	52.2	53.7	52.1	53.6
非製造業		51.7	58.6	62.1	58.3	56.9
雇用関連		56.0	55.0	61.0	59.0	56.0

表1 - 4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成17年 6月	1.4%	17.1%	61.2%	15.4%	4.9%
平成17年 9月	1.8%	28.0%	48.6%	17.0%	4.6%
平成17年 12月	3.8%	26.8%	48.8%	17.5%	3.1%
平成18年 3月	4.2%	34.0%	50.0%	9.7%	2.1%
平成18年 6月	1.7%	26.1%	55.3%	14.9%	2.0%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは49.2となった。3月調査分より2.6ポイント上昇したものの、横這いを表す50を2期連続で下回った。また、現状判断DIは全県を通じて最低であった。業種別にみると、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは3月調査分を上回ったものの、雇用関連DIは3月調査分を下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		45.2	41.2	52.2	46.6	49.2
	家計動向関連	42.1	35.7	51.4	43.8	47.4
	企業動向関連	47.1	48.5	51.5	48.5	51.5
	雇用関連	60.0	55.0	60.0	60.0	55.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	19.3%	49.1%	24.6%	7.0%
平成17年 9月	0.0%	15.8%	47.4%	22.8%	14.0%
平成17年12月	5.2%	29.3%	37.9%	24.1%	3.4%
平成18年 3月	0.0%	24.1%	43.1%	27.6%	5.2%
平成18年 6月	0.0%	21.7%	58.3%	15.0%	5.0%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは52.2となった。3月調査分より2.3ポイント低下したものの、横這いを表す50を3期連続で上回った。業種別にみると、雇用関連DIは3月調査分を上回ったものの、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは3月調査分を下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		47.8	49.6	50.9	54.5	52.2
	家計動向関連	46.4	46.7	48.0	52.2	51.4
	企業動向関連	43.8	53.1	54.7	57.8	48.3
	雇用関連	70.0	60.0	60.0	60.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	1.8%	19.6%	50.0%	25.0%	3.6%
平成17年 9月	1.7%	20.3%	59.3%	11.9%	6.8%
平成17年12月	3.4%	22.4%	53.4%	15.5%	5.2%
平成18年 3月	3.6%	29.1%	52.7%	10.9%	3.6%
平成18年 6月	5.3%	19.3%	57.9%	14.0%	3.5%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断D Iは55.9となった。3月調査分より4.6ポイント上昇し、横這いを表す50を3期連続で上回った。また、現状判断D Iは全県を通じて最高であった。業種別にみると、家計動向関連D I及び雇用関連D Iは3月調査分を上回ったものの、企業動向関連D Iは横這いであった。

表2 - 5 景気の現状判断D I

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.1	48.1	54.3	51.3	55.9
	家計動向関連	51.3	46.3	50.7	50.7	56.6
	企業動向関連	50.0	48.3	57.8	51.6	51.6
	雇用関連	65.0	60.0	70.0	55.0	65.0

表2 - 6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	28.8%	52.5%	16.9%	1.7%
平成17年 9月	3.7%	16.7%	51.9%	24.1%	3.7%
平成17年12月	1.7%	29.3%	55.2%	12.1%	1.7%
平成18年 3月	0.0%	28.8%	50.8%	16.9%	3.4%
平成18年 6月	3.4%	30.5%	54.2%	10.2%	1.7%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断D Iは52.1となった。3月調査分より5.5ポイント低下したものの、横這いを表す50を4期連続で上回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのD Iが3月調査分を下回った。

表2 - 7 景気の現状判断D I

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		45.7	53.0	60.8	57.6	52.1
	家計動向関連	47.1	52.1	60.1	59.0	52.8
	企業動向関連	44.4	52.9	60.9	48.6	45.8
	雇用関連	40.0	60.0	65.0	80.0	70.0

表2 - 8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	19.0%	56.9%	12.1%	12.1%
平成17年 9月	1.7%	31.0%	46.6%	19.0%	1.7%
平成17年12月	8.6%	37.9%	43.1%	8.6%	1.7%
平成18年 3月	8.5%	33.9%	40.7%	13.6%	3.4%
平成18年 6月	3.4%	23.7%	54.2%	15.3%	3.4%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断D Iは51.7となった。3月調査分より4.0ポイント低下したものの、横這いを表す50を4期連続で上回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのD Iが3月調査分を下回った。

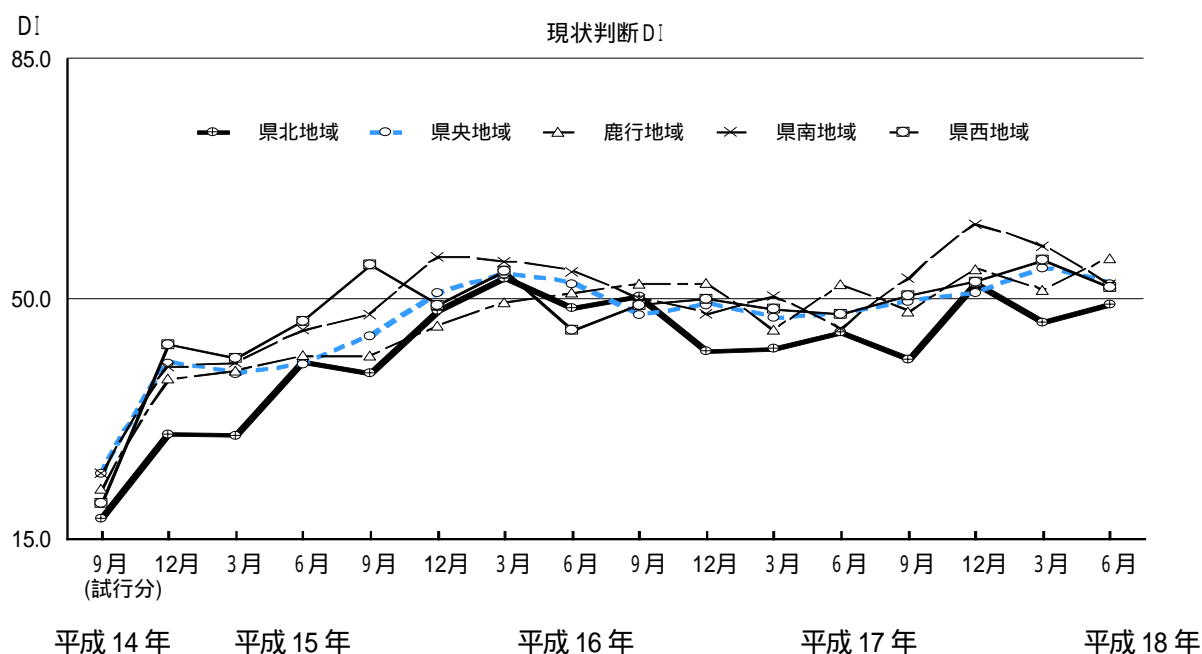
表2 - 9 景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		47.8	50.5	52.5	55.7	51.7
家計動向関連		48.4	42.7	49.3	52.3	52.1
企業動向関連		47.4	58.3	50.0	60.5	51.3
雇用関連		45.0	70.0	85.0	60.0	50.0

表2 - 10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	17.9%	58.9%	19.6%	3.6%
平成17年 9月	0.0%	25.9%	53.7%	16.7%	3.7%
平成17年12月	3.4%	28.8%	45.8%	18.6%	3.4%
平成18年 3月	1.8%	31.6%	56.1%	8.8%	1.8%
平成18年 6月	3.3%	18.3%	60.0%	18.3%	0.0%

図2 - 1 地域別現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.8となった。3月調査分より2.1ポイント上昇し、横這いを表す50を2期連続で上回った。業種別にみると、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは3月調査分を上回ったものの、雇用関連DIは横這いであった。

表2 - 11 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		46.1	49.6	49.1	51.7	53.8
家計動向関連		46.4	47.1	43.1	51.4	52.0
企業動向関連		42.6	52.9	57.4	54.4	60.3
雇用関連		55.0	55.0	65.0	45.0	45.0

表2 - 12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	1.8%	8.8%	64.9%	21.1%	3.5%
平成17年 9月	1.8%	21.1%	56.1%	15.8%	5.3%
平成17年12月	5.2%	19.0%	46.6%	25.9%	3.4%
平成18年 3月	0.0%	34.5%	43.1%	17.2%	5.2%
平成18年 6月	1.7%	28.3%	55.0%	13.3%	1.7%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.8となった。3月調査分より4.1ポイント低下したものの、横這いを表す50を6期連続で上回った。業種別にみると、雇用関連DIは3月調査分を上回ったものの、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは3月調査分を下回った。

表2 - 13 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月	平成18年 6月
	合計		52.7	53.4	52.6	55.9
家計動向関連		55.0	48.7	48.0	56.6	50.0
企業動向関連		43.8	62.5	62.5	51.6	50.0
雇用関連		65.0	60.0	55.0	65.0	70.0

表2 - 14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	5.4%	19.6%	60.7%	8.9%	5.4%
平成17年 9月	3.4%	28.8%	49.2%	15.3%	3.4%
平成17年12月	8.6%	20.7%	48.3%	17.2%	5.2%
平成18年 3月	5.5%	27.3%	54.5%	10.9%	1.8%
平成18年 6月	3.5%	15.8%	68.4%	8.8%	3.5%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.0となった。3月調査分より6.3ポイント低下したものの、横這いを表す50を6期連続で上回った。業種別にみると、雇用関連DIは横這いであったものの、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは3月調査分を下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月	平成18年 6月
	合計		50.4	50.9	52.2	59.3
家計動向関連		51.3	52.2	48.6	59.9	50.7
企業動向関連		45.3	51.7	57.8	57.8	56.3
雇用関連		60.0	40.0	60.0	60.0	60.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	25.4%	54.2%	16.9%	3.4%
平成17年 9月	1.9%	22.2%	55.6%	18.5%	1.9%
平成17年12月	1.7%	22.4%	62.1%	10.3%	3.4%
平成18年 3月	3.4%	39.0%	50.8%	5.1%	1.7%
平成18年 6月	0.0%	30.5%	52.5%	15.3%	1.7%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは56.8となった。3月調査分より7.2ポイント低下したものの、横這いを表す50を4期連続で上回った。また、先行き判断DIは全県を通じて最高であった。業種別にみると、企業動向関連DIは3月調査分を上回ったものの、家計動向関連DI及び雇用関連DIは3月調査分を下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断DI

分野	調査日時				
	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月	平成18年 6月
合計	46.1	54.7	56.9	64.0	56.8
家計動向関連	46.4	54.2	57.4	66.7	56.3
企業動向関連	47.2	52.9	53.1	56.9	58.3
雇用関連	40.0	65.0	65.0	70.0	55.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	17.2%	58.6%	15.5%	8.6%
平成17年 9月	1.7%	41.4%	36.2%	15.5%	5.2%
平成17年12月	1.7%	43.1%	37.9%	15.5%	1.7%
平成18年 3月	10.2%	42.4%	42.4%	3.4%	1.7%
平成18年 6月	1.7%	39.0%	47.5%	8.5%	3.4%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.9となった。3月調査分より6.5ポイント低下し、横這いを表す50を3期ぶりに下回った。また、先行き判断DIは全県を通じて最低であった。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回った。

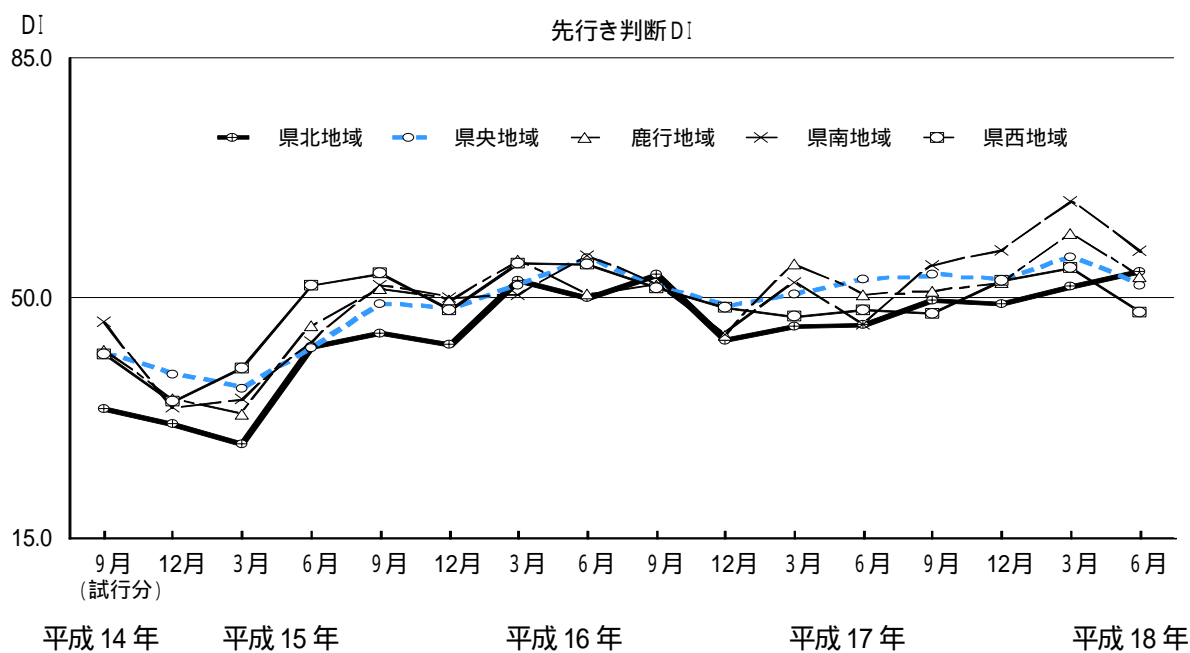
表2 - 19 景気の先行き判断DI

分野	調査日時				
	平成17年 6月	平成17年 9月	平成17年 12月	平成18年 3月	平成18年 6月
合計	48.2	47.7	52.5	54.4	47.9
家計動向関連	48.4	46.8	52.1	56.1	47.2
企業動向関連	44.7	47.2	51.3	51.3	48.7
雇用関連	60.0	55.0	60.0	55.0	50.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成17年 6月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成17年 9月	0.0%	25.9%	46.3%	20.4%	7.4%
平成17年12月	1.7%	28.8%	49.2%	18.6%	1.7%
平成18年 3月	1.8%	26.3%	59.6%	12.3%	0.0%
平成18年 6月	1.7%	16.7%	53.3%	28.3%	0.0%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	295 人	98.3%
県北地域	60 人	60 人	100.0%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	59 人	98.3%
県西地域	60 人	60 人	100.0%

景気の判断理由

1 景気の現状判断理由

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由	
良				
やや良くなっている	家計	スーパー	売上げ、客単価とも前年を上回っている。	
		スーパー	高品質の商品、こだわりの商品が動いている。量は少ないが、1ランク上の商品へ目がいつていることがうかがえる。また、衣料品の動きも相変わらず良い。	
		スーパー	嗜好品、やや単価の高い物及び必需品以外の物の売行きが良い。	
		レストラン	昼夜とも客数が増加していると思われる。	
		和食食堂	新しい道路が開通し1年が経過したが、車の流れが変わり客が増加していると思われる。	
		クリーニング店	客数、客単価とも増加している。	
	企業	製造業（電気機械器具）	受注及び経常利益が増加している。	
		製造業（電気機械器具）	主要取引先、新規取引先とも受注量が増加している。	
		製造業（電気機械器具）	工業団地の電気部品関係、リサイクル関係などの企業で受注量が増加してきたという話が聞かれる。	
		製造業（電気機械器具）	生産台数が増加している。	
		非製造業（建設業）	見積件数も増加傾向にあり、設備投資を控えていた取引先に実施や計画の話が出ている。	
	雇用	求人広告	欠員補充の求人ではなく、増産や増設による求人が多い。	
	変わらない	家計	商店街代表者	新年度の就職や転職に伴う異動が一段落するとともに、購買意欲も落ち着いてしまった。
			衣料品販売店	来店客数の増加も見られず、客単価にも変化がない。
			家電販売店	売上げに変化がない。また、客の声を聞いても変化が感じられない。
自動車販売店			客の動向は、必要なものだけを購入するといった感じであり、ダメにならないと買替えに至らない。	
農産物直売所			来客数、購入客単価とも変化はない。	
ガソリンスタンド			石油業界は一番悪い状況にあり、事実、4、5月の売上げは悪かった。	
小売業（水産物）			日常生活からは変化を感じられない。	
小売業（靴製品）			客単価、買上点数ともに変化がない。	
衣料品販売店			客単価が上昇してこない。	
居酒屋			週末以外は客が少なく、売上げが伸びていない。	
スナック			売上げが伸びない。	
観光型ホテル			店が客の価値観と合えば来店してくれている。	
観光型ホテル			客単価に変化が見られない。	
旅行代理店			購入単価が上昇しない。	
タクシー運転手			4月はまずまずであったが、5月は前年より落ち込んでいる。	
タクシー運転手	4月は新入社員の歓送迎会、入学式などで多少は動きがあったものの、平均すれば売上げはほとんど上昇していない。			

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由	由
変 わ ら な い	家計	ドライブイン	連休も終わり梅雨に入るため天候の影響を受けると思われる。また、ガソリン価格の高騰により、遠出せず近場で余暇を過ごす人が多いと思われる。	
		ゲームセンター	集客率に変化がない。	
		レジャー施設	客単価、入場者数とも横這いである。	
		理・美容店	3月から4月は、卒業式、入学式、会社の入退社に伴う歓送迎会などで若干の賑わいがあったが、現在は、通常どおりとなっている。	
		住宅販売会社	来場者数に変化がない。	
	企業	林業関係者	木材価格の動向では、多少の動きはあるものの全体的には変化はないと思われる。	
		製造業(一般機械器具)	変化しているような話が聞かれない。	
		製造業(電気機械器具)	良い話も悪い話も聞かれず、大きな変化は感じられない。	
		製造業(電気機械器具)	受注額が3ヶ月前よりはやや減少しているものの、昨年同期と比べた上昇傾向は続いている。	
		製造業(電気機械器具)	昨年末からの原油高や半導体製造装置市場における競争の激化などにより、業績の悪化が続いている。	
		非製造業(建設業)	公共工事がなく動きがない。景気回復を期待しての民間の設備投資もあるが、まだ安定は見込めない状況であり、個人工事も動きが鈍い。	
		非製造業(不動産業)	分譲マンションは順調に推移している。一戸建てについては、市街地の物件は順調であるが、郊外型の物件が依然として低迷している。	
	非製造業(情報処理サービス)	商談はやや増加しているものの、受注に結びつく状況ではない。		
	雇用	学校就業関係者	受注量が増加している企業もあるが、全体的には景気は横這いであると思われる。	
		人材派遣業	人材不足が続いている。	
		求人開拓員	設備投資に尻込みしている事業所が多い。	
		公共職業安定所	求人は運輸通信業で増加しているものの、全体的には減少傾向にある。求職者は在職者の増加に伴い、僅かながら増加している。	
	や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	以前より売上げの前年比の落ち込みが大きくなっている。また、客単価も低下しており必要なものしか購入しない。
コンビニエンスストア			売上げ、客数ともに減少している。連休は良かったが、5月全体ではマイナスであった。消費者の金の使い方が変化しているようにも感じられる。	
小売業(酒類)			春先は歓送迎会などが多く、取引先の飲食店に活気があった。しかし、ここに来て行事なども少なく活気が見られない。	
観光型ホテル			梅雨や農繁期のためか毎年6月は来場者数が落ち込む。連休明けであり、お盆前でもあるため消費を控えていることも要因と思われる。	
タクシー運転手			地元企業の部門の一部が移転したためか、注文数が減少している。	
タクシー運転手			年度末は、歓送迎会などで利用客があったが、現在は、地元企業のボーナスがまだ出ていないこともあり、利用客が減少している。	
レジャー施設			リニューアルオープン後は利用客が増加したが、客単価が減少し続けている。	
企業	製造業(食品)	燃料の値上がりと資材費の高騰により収益が悪化している。		
	製造業(輸送用機械器具)	銅、アルミ、ニッケル等の市場価格は天井知らずの高騰ぶりであり、電磁鋼板は価格高騰はもちろん物量確保も困難な状況であるが、製品価格への転嫁は出来ない現状である。また、北米、国内ともに販売不振であり、生産規模を縮小する見通しとなっている。		
悪 く な っ て い る	家計	パチンコ店	法改正によって営業内容の規制が厳しくなり、集客力が弱くなった。遊技人口は全国的に減少している。	
		理・美容店	5月に入り全くダメである。	
	企業	水産業関係者	極端な不漁に加え、燃料の大幅な値上りによって漁業関係、加工業、冷凍業とも不景気のどん底の状況が続いている。また、多少漁獲があっても安値が続いている。	

(2) 県央地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良くなっている	家計	農産物直売所	天候に影響を受けやすいという特徴はあるものの、商品単価、客単価とも20%前後伸びている。
		スーパー	売上げが好調である。
		住宅販売会社	来店客が増加し、客の動きが活発になってきた。
やや良くなっている	家計	割烹料理店	暖かい陽気になり、飲料の売上げが伸びている。
		レジャー施設	前年比で利用回数及び新規契約が微増している。
		理・美容店	新規の客やリピーターが増加している。
	企業	製造業(出版・印刷業)	常連客からの仕事は減少しているものの、売上げ及び経常利益が増加している。
		製造業(金属製品)	顧客からの内示発注が以前より長期になってきた。
		非製造業(広告代理業)	宣伝広告費が前年比10%ほど伸びている。また、パンフレット・ツール類のリニューアルが増加している。4月からの新年度予算を上期に多く投入し、業績によっては下期に予算を上乘せようとする意図が見られる。
		非製造業(コンサルタント業)	消費形態が明確になってきており、個性的な商品が売れている。
	雇用	人材派遣業	二極化はしているものの、大手住宅メーカーや通信業界などには景気回復感がうかがえる。ただし、中小企業においては、忙しくなっているが、人が減少したためであり、需要は増加していない。
		求人開拓員	6月に入り、少しずつ求人が増加している。
		公共職業安定所	管内4月の事業所業況調査においては、普通から好調までの企業が71.5%あり、業況DIは前年同期と比べ4.1ポイント改善された。また、雇用保険受給者実人員は3ヶ月連続で減少している。
		学校就業関係者	4年生の大手企業への内定が順調に進んでいる。また、内定辞退の影響からか、中小企業からの追加募集の知らせが多くなってきており、新たに、4年生向けの学内就職説明会の有無の問合わせも来ている。これらのことから、年頭あたりから言われている景気回復が現実に進行している感がある。
	変わらない	家計	商店街代表者
百貨店、総合スーパー			買上単価に変化がない。個人消費の源泉である収入に大幅な改善がない。
スーパー			目的買いが大半であり、嗜好品の売行きも悪い。また、衝動買いも少なく、依然として無駄な消費はしない傾向が続いている。
スーパー			原油の高騰により商品価格の上昇が噂になっている。
スーパー			前年と比べ売上げに変化がない。
自動車販売店			客の職種によって、良くなっているという意見と厳しい状況が続いているという意見に分かれる。
専門スーパー			屋外関係の商材や建築関連品の動きが活発になってきているが、例年通りのことであり、特別良くなったとは思われない。
ファミリーレストラン			客数及び客単価に変化がない。
レストラン			総会時期で人の動きは多いが、単価が上昇していない。50から60代の女性客は少し増加しているものの、給与が上昇していないためか、外食に金をかけない状況に変化はない。
都市型ホテル			業種により様々ではあるが、景気回復とはいかないまでも、悪化もしていないと思われる。
観光型ホテル			連休時期などの人出は多くなったように思えるが、客の消費動向には余り変化が見られない。
タクシー運転手			景気が良くなる傾向は見受けられない。迎え無料や回数割引といった独自のサービスにより景気回復を期待している。
タクシー運転手			水戸駅南口では、マイカーでの送迎が増加傾向にある。また、県庁からの客もバスの利用が多く、タクシーは敬遠されている状況である。
ドライブイン			客の購買意欲に大きな変化がない。

(2) 県央地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
変 わ ら な い	家計	ドライブイン	売上げが前年比で3ヶ月前と変化がない。
		観光名所	春先よりも高額商品の販売が鈍いが、入出、売上げとも例年並みで推移している。
		ゴルフ場	予約件数は増加しているが、特別料金適用などの影響でプレー単価に伸びが見られない。来場者数は若干ながら増加傾向を示しているが、食堂単価の低下など客単価は伸びていない。
		ゲームセンター	客数及び客単価に変化がない。
		レジャー施設	入場者数だけでなく、全体の消費額もあまり変化がない。3月にオープンした大洗リゾートアウトレットモールの関係で連休の道路混雑はあったが、入場者・売上げともあまり影響は感じられない。
		建築設計事務所	石油価格の高騰により、原材料である建材価格は上昇しているが、受注金額の方は上昇していない。
	企業	製造業(食品)	売上げは回復傾向にはあるものの、平均すると変化は見られない。
		製造業(食品)	大手銀行を始め、好況が伝えられているが、消費動向が上向いているとは思えない。
		製造業(一般機械器具)	良い方向で変わらない。
		非製造業(輸送業)	貨物の動きが一定であり落ち着いている。
		非製造業(金融業)	建築業や不動産業で一部業績が良い企業も見られるが、大部分の企業は、売上げ、収益とも横這い状態である。
		非製造業(情報処理サービス)	景気に若干明るさが見られるが、量的緩和と政策の解除、原油高騰などが市場へ与える影響が読めず、各企業とも設備投資に慎重さを感じられる。
雇用	求人広告	新設されるショッピングセンターの募集があるが、全体的にはあまり変化はない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	郊外型ショッピングセンターやアウトレットモールの出店により、中心市街地は影響を受けていると思われる。
		百貨店、総合スーパー	新店舗オープンから3ヶ月が経過し、落ち着いてしまった。有名ブランドショップは好調を維持しているが、一般的なブランドショップは思うように伸びていない。
		専門スーパー	前年と比べ売上げが悪化している。
		タクシー運転手	年度末は、企業関係の異動のため利用客は増加していたが、このところは減少している。
		タクシー運転手	梅雨時に入り、利用客が減少している。
	企業	製造業(出版・印刷業)	受注量が減少している。
		製造業(精密機械器具)	3月決算の顧客からの駆け込み受注が一段落するので、この時期はどうしても低迷する。
		非製造業(不動産業)	契約数に変化はないが、単価が落ちている。
悪 く	家計	理・美容店	5月に入ったら暇になった。
	企業	製造業(土石製品)	受注件数、受注額とも大幅に減少している。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良 く	家計	家電販売店	全体的に高グレード商品の売行きが好調である。特に、大型テレビ、洗濯乾燥機などの高級モデルが伸びている。
	雇用	学校就業関係者	地元で中国の木材業者が進出し、景気は良くなっていると思われる。
や や 良 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	コンビニートへの短期の出張などにより、利用客が増加している。
		農産物直売所	客単価が上昇している。また、同じ商品でも価格の高いものを購入する客が増加してきた。
		書店	売上げ及び客単価が若干上昇している。
		観光型ホテル	利用客が増加している。
		タクシー運転手	あやめ祭りや夏祭りがあるため、客が来ると思われる。
		タクシー運転手	あやめ祭りや夏祭りがあるため、客が増加する。
		タクシー運転手	営業回数が多くなっている。新入社員の入社などもあり、忙しかった。
		観光名所	6月は全国各地から観光客が訪れ、土産物の売上げも好調である。他の人につられて購入する客も多いようだ。
		洋食食堂	新規の客が増加している。
		パチンコ店	客の滞留時間が長くなっている。
		クリーニング店	衣替えの時期なので取引量が增加している。また、周辺農家は、農作業で忙しいので、飲料やパンの売行きが良い。
		サービス業	今年度の予算を待って発注されたものが増加している。
		ドライブイン	県産の単価の高いメロンの売行きが好調である。
企 業	製造業（窯業・土石製品）	大手鉄鋼業の設備投資は昨年度を大幅に上回っており好調である。連合調べでは、ボーナスも前年比3.6%の伸びを示し、大企業の影響がグループ企業へシフトしつつあると思われる。	
	製造業（化学工業）	原料価格の高騰分を販売価格に転嫁出来ている。また、品薄感からか数量も大幅に伸びており、売上げが大幅にアップしている。	
	非製造業（輸送業）	4～5月は、予定していたよりも貨物の動きが良かった。売れる製品と売れない製品の区別が出てきていると思う。	
雇 用	民間職業紹介業	求人依頼する企業が増加傾向で推移している。	
変 わ ら な い	家計	小売業（金物店）	民間企業においては、設備投資や定期修理の工事が増加している。一方、公共事業は低迷している。
		商店街代表者	都市部の企業は一部回復基調にあるようであるが、住宅設備産業はバブルの後遺症もあり受注が少ない。また、地元の農家や漁家においては、米価安や不漁のため購買意欲が沸かない状態である。
		商店街代表者	市民税や固定資産税など義務的支出が多いため、消費に回せる金がないのではと思われる。
		商店街代表者	各メディアで景気回復の報道がなされているが、地元の様子には変化がない。
		スーパー	客の消費傾向に変化がない。日替わり品などの価格訴求商品目当ての客が多く、また、必要量しか購入しない傾向が強い。
		コンビニエンスストア	売上げ及び客の動向に変化が見られない。
		食料品販売店	客数及び客単価の推移に変化が見られない。
		自動車販売店	当事業所の販売台数は横這いである。
		専門スーパー	景気回復と同時に競争が激化している。結果的に景気は横這いと思われる。
		小売業（薬品店）	景気回復と言われているが、消費傾向は変わっていない。景気が回復しているのは、一部の大手企業だけだと感じる。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
変 わ ら な い	家計	スナック	悪い状況に変化がない。以前は夜間も多少通りがあったが、現在は閑散としている。
		観光型ホテル	客の利用状況に変化がない。
		小売業（菓子販売店）	相変わらず客単価が伸びず、贈答品が売れない。
		ゴルフ場	キャディー付きプレーヤ、レストラン、プロショップなどの付帯売上げが、あまり増加していない。
		理・美容店	接客していても、景気の話が出ない。
		室内装飾業	一般住宅の建設が少ない。
		住宅販売会社	2月から3月にかけて、金利上昇の不安から住宅の購入を検討し始めたファーストバイヤーが増加したが、引き続きその傾向が続いている。
		住宅販売会社	金利の上昇や消費税率の上昇、ローン控除特例の廃止など、マイホーム取得には厳しい条件が山積している。
	企業	農業関係者	農作物の生産が過剰気味で、売上げの低迷が続いている。
		製造業（食品）	霞ヶ浦産の水揚げが皆無である。
		製造業（印刷業）	良くなっている実感が無い。
		製造業（化学工業）	主原料のナフサ価格が高止まっており、今後安くなる見込みもない。
		製造業（金属製品）	良い状況で推移している。前向きな仕事の話をよく耳にするようになった。
		製造業（飼料製造）	鳥インフルエンザの影響が大きく残り、業界全体の売上げは伸び悩み傾向である。
		非製造業（金融業）	マスコミ等では、いざなぎ景気の再来との見方をしているようだが、当地域の消費動向からは、景気好転の様子は見られない。
		非製造業（金融業）	合併で良くなるかと思っただ、何の変化もない。
	非製造業（不動産業）	地価の下落が止まらない状態が続いている。	
	雇用	人材派遣業	大企業は好調を維持している。一方、地元の中小企業では、仕事は増加傾向にあるものの、単価が低く経営面では厳しいようである。
公共職業安定所		新年度の上期（4～8月）は動きが少なく、求人は横這い状態である。	
求人開拓員		コンビナートの定期修理関係を除けば、新規求人は少ない。未充足や退職者補充のための求人が多い。	
やや悪くなっている	家計	タクシー運転手	歓送迎会などがあった3ヶ月前と比べるとやや悪くなっている。
		割烹料理店	3月、4月は歓送迎会などの機会があったが、6月は何もない。
		日本料理店	来店客が減少している。
	企業	製造業（食品）	6月に入りやや戻りつつあるものの、連休後に極端に悪くなった。
		製造業（電気機械器具）	4 - 6月期は毎年季節的な要因で良くないが、今年も従来と変わらず良くない声が多い。
悪	家計	パチンコ店	客単価が低下している。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良 く	家計	理・美容店	つくばエクスプレスが開業し、婚礼部門において前年比で20%伸びている。
	雇用	雇用相談員	宅地開発、マンション建設、商業施設のオープンなど相変わらず活発である。求人においても製造オペレーター不足が続いており、正社員が集まらず派遣社員に頼らざるを得ない状況となっている。また、賃金を上げてパート社員を募集しても、なかなか集まらない状況も出てきている。
や や 良 く な っ て い る	家計	スーパー	買上点数が増加している。和牛ステーキ及びすき焼き用の肉が動いている。
		スーパー	客数、客単価とも前年比で増加している。
		家電販売店	テレビの買替え需要において、躊躇なくデジタル対応機種を購入している。購入するなら良いものが欲しいといった感がある。
		農産物直売所	春夏野菜の出回りと豊富な品揃えにより、客の購買意欲が増している。
		小売業（食料品）	販売量が増加している。また、価値の高い商品を購入する客が増加している。
		都市型ホテル	ブランド品を身に付けている客や、最新の携帯電話を持った客が増加している。
		旅行代理店	シーズンなので動きがある。
		タクシー運転手	連休の乗客数が昨年度より増加した。
	企業	製造業（食品）	売上げが伸びている。
		製造業（一般印刷業）	少し売上げが増加する見込みである。また、新規取引が増加している。
		非製造業（建設業）	地元の商工業者の設備投資はあまり目立っていないものの、工業団地に進出した企業においては、今年になって設備投資が増加し、工場の増築が目立っている。また、以前は、改修やメンテナンス工事が主体で工事費の上積みが厳しかったが、最近では、新築物件の引合いがある。
	雇用	人材派遣業	登録者が減少しており、就職者が増加している。
		学校就業関係者	求人が多く、例年なら不採用となる企業でも採用通知がある。また、高卒に対する求人も増加しているようである。
	変 わ ら な い	家計	スーパー
スーパー			買上点数、単価とも横這いである。
コンビニエンスストア			消費回復と言われているが、天候不順により、厳しい状況が続いている。
コンビニエンスストア			買上点数、単価とも変化がない。購買意欲に変化は感じられない。
自動車販売店			ボーナス時期となったが、客との会話の中では、良くなっているとも悪くなっているとも感じられない。
農産物直売所			5月は野菜価格が不安定で安価な時期であった。このため、来店客数は増加しているものの、売上げの伸びは微増であった。
洋食食堂			昨年と比べると客数は増加しているものの、ここ3ヶ月は変化がない。
寿司店			マスコミ等で3月期決算黒字の報道がなされているが、客の様子からは一切そのようなことは感じられない。
和食食堂			売上げは減少傾向で変化はない。
旅行代理店			ツアーの予約状況に変化がない。また、梅雨に入り旅行客の増加も見込めない。
タクシー運転手			乗客数、売上げとも昨年と変わらない。
タクシー運転手			売上げも回数も増加していない。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	暗いニュースが多く、景気の良い話が聞かれない。
		パチンコ店	稼働状況や売上げに変化がない。
		ゲームセンター	客の娯楽への出費は増加しておらず、変化はない。
		建築設計事務所	受注量に変化がない。
	企業	農業関係者	農村地帯においては、目立った景気上昇は感じられない。
		製造業（食品）	つくばエクスプレスの影響で、筑波山始め一部の研究所において観光客が多く、対応が追いつかない時もあった。しかし、このところ落ち着いた雰囲気となっており、売上げはやや減少している。
		製造業（食品）	売上げが伸びていない。
		非製造業（建設業）	見積業務は多少増加しているものの、契約には至っていない。また、当社の主力取引先は製造業者であるが、銅製造会社は元気がなく、2年程受注がない。
		非製造業（建設業）	毎年のことではあるが、1月から5月は受注が増加し、6月から10月は減少する。例年通りと思われる。
		非製造業（輸送業）	新規の貨物の引合いがあるものの、単価が低い。燃料費の値上げにもかかわらず、運賃は値上げ出来ず厳しい状況である。
雇用	公共職業安定所	求人、求職とも横這いである。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	衣料品販売店	天候、気温の影響があり前年比マイナスの状況である。また、今年は連休と母の日が分散してしまったため不振であった。
		ガソリンスタンド	燃料油が前年比で4%ダウンしている。特に、運送業の燃料関係がダウンしている。
		都市型ホテル	レストランの客数には変化がないものの、近隣にホテルがオープンしたため宿泊客が減少している。
		レジャー施設	週末の悪天候の影響で悪くなっていると感じられる。
	企業	製造業（食品）	コスト増により収益が減少している。
		製造業（食品）	梅雨の影響もあり商品の動きが鈍い。
		製造業（窯業・土石製品）	株安や原油価格の高止まりなどにより悪化していると思われる。
		製造業（コンクリート製造業）	取引先企業の倒産や原材料価格の高騰によりやや悪くなっている。
悪 く	家計	商店街代表者	道路交通法の改正で駐車が出来なくなり車の客が来なくなった。
	企業	製造業（金属製品）	原材料高であるが、販売価格はデフレが続いており、夏のボーナスは前年の半分程度になる見込みである。売上げは前年比で横這いであるが、収益面が大幅に悪化しつつある。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良く	家計	クリーニング店	例年と比較すると天候が悪く出足が鈍いものの、繁忙期に入っている。
	企業	製造業（化学工業）	受注が急増し、フル生産状態が続いている。特に、半導体用パッケージ基板の需要が旺盛である。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	仕事が少ないという建築士もいるが、逆に仕事が忙しくて飲みにも行けないという建築士もいる。
		スーパー	当社の営業の成果もあると思うが、特にクレジットカードで買物をする客の単価が徐々に上昇している。購入しやすい価格の食品品と一緒に、付加価値のあるやや高額な商品も動いている。
		和食食堂	歓送迎会、総会などで人の動きがある。
		都市型ホテル	出張で利用する客が増加している。
		タクシー運転手	日中の買物客や通院客は減少している感があるが、新年度になり地元の工業団地へ研修に向かう新入社員が増加しているように思われる。
		建築設計事務所	土地の分譲開発行為の許可、サラリーマンの一戸建て住宅、工場の設備増設の相談が多少増加している。
	企業	製造業（金属製品）	引合い件数が増加している。
		製造業（電気機械器具）	来客数が増加している。
		非製造業（不動産業）	売買客が増加している。
	雇用	公共職業安定所	求人数が増加している。また、雇用条件が改善している。
		学校就業関係者	昨年より求人票の提出が多い。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			売上げ、客数、客単価とも横這い傾向である。
コンビニエンスストア			給料日前は高額商品の売行きが悪い。また、セール品やキャンペーンであっても、必要性のない商品は購入しないという消費動向に変化が見られない。
家電販売店			来客数が増加していない。
自動車販売店			売上げに伸びがなく、新規ユーザーも増加していない。
衣料品販売店			売上げが前年の90%台で推移している。周辺に競合店が増加した影響があると思われる。
農産物直売所			景気上昇の兆しはあったが、このところの原油価格の高騰や株価低迷の影響により横這いであると思われる。
和食食堂			売上げに伸びがない。
和食食堂			依然として、家族連れの客が少なく、サラリーマン単身の客が多い状況である。
和食レストラン、割烹			客単価に殆ど変化がない。
都市型ホテル			利用客が増加しているようには思われない。
旅行代理店			良くなっている業種もあるようだが、全体的には上向きとは言えない。
タクシー運転手			営業台数を減らして利益を確保している状態が続いている。
タクシー運転手			客との会話においても景気の良い話が聞かれない。
ドライブイン			客の出入りに変化がなく、また売上げにも変化がない。
ゴルフ場			昨年と比べあまり変化が見られない。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由	由
変 わ ら な い	家計	ゲームセンター	客の滞在時間に変化がない。また、目的以外には見向きもしない傾向が見受けられる。	
		レジャー施設	連休中は大変賑わっていたものの、その後は、地元でイベントが開催されていたにも関わらず、天候不順により客足は悪かった。レジャー産業は天候に左右されるため、梅雨時に若干不安を感じる。	
		理・美容店	暇であるという声が多く聞かれる。二極化がさらに進んでいると思われる。	
		理・美容店	来店サイクルに変化がなく、売上げも伸びていない。	
		住宅販売会社	来場者数に伸びがない。	
	企業	農業関係者	天候不順等により消費動向が鈍く感じられる。	
		製造業（食品）	石油製品の価格高騰により、利益が圧迫されている。また、ガソリン価格の高騰により、消費が伸び悩んでいる。	
		製造業（印刷業）	都市は不景気知らずであるが、地方は閑古鳥が鳴いているのが実情である。都市と地方の格差は拡大する一方であり、一流企業と零細企業の格差も拡大しているように思われる。	
		製造業（石材業）	上向きになっているとは思われるが、3ヶ月前とはあまり変化がない。	
		製造業（一般機械器具）	取引先である自動車関連業界及び電機（電線）業界は好調であるが、菓子業界が厳しい状況である。	
		製造業（印刷業）	デフレ傾向が依然として続いていると思われる。	
		非製造業（金融業）	売上げは横這いであり、報道されているような景気回復は感じ取れない。一部の業種においては、注文が減少するなど悪化しているものの、総じて景気に変化はない。	
		非製造業（広告業）	売上げは少し良くなっている感はあるが、石油価格の上昇、材料費の値上により帳消しとなっている。	
	雇用	就職相談員	求人数、求職数とも横這いで安定している。	
	や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	競合店との競争が激しく、キャンペーンやセールが顕著に行われてはいるが、客にとっては選択肢の一つに過ぎないため、効果は一過性のものとなっている。
専門スーパー			客単価が前年比、前期比ともに減少している。	
ガソリンスタンド			物流関係の仕事が少ないように思われる。	
ドライブイン			連休後の天候不順により売上げが前年比マイナスとなっている。また、ガソリン価格の高騰により、車での外出を控えていると思われる。	
パチンコ店			周辺農家が農繁期に入り、客数が減少している。また、射幸性が高い機種より投資額が低い機種が受け入れられている。	
企業		製造業（食品）	原油価格の高騰により運送費や資材品価格が上昇している。	
		製造業（石材業）	例年に比べ雨天が多かったため、作業効率に悪影響が出ている。	
		非製造業（建設業）	原油価格の高騰で少しずつ原料価格が値上がりしているが、販売価格はなかなか値上げできない。	
		非製造業（コンサルタント業）	3月決算法人の申告状況では、昨年と変わらずとの回答がほとんどであるが、運送業など石油関連製品を消費する業種では最悪の結果となっている。	
雇用		人材派遣業	仕事の量が少ない。	
	求人広告	求人広告を出す企業が減少している。		
悪				

景気の判断理由

2 景気の先行き判断理由

(1) 県北地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良	企業	製造業（電気機械器具）	受注の案件があり、経常利益の伸びが予想される。
やや良くなっている	家計	スーパー	景気は上昇カーブを描いており、急に悪化するとは考えられない。現況がしばらくは続くと思われる。
		家電販売店	民放の地上波デジタル放送が日立エリアで受信可能となるため、関連商品の売上げが期待できる。
		農産物直売所	観光客が増加する時期となる。
		衣料品販売店	天候が良く、気温も上昇すると思われるので、景気はやや良くなっていると考えられる。
		居酒屋	ボーナスが支給されるため、利用頻度が上昇すると思われる。また、都内での景気の良い流れが地方にも波及すると思われる。
		観光型ホテル	8月は夏休みのため毎年良い。9月は涼しくなり高齢者の来場が増加するものと思われる。
		タクシー運転手	高校野球や国営ひたち海浜公園でのコンサートがあるため多少忙しくなると思われる。
		ドライブイン	ミニバブル（景気）が続くと思われる。
		ゴルフ場	予約、問い合わせが来るようになっている。営業においても以前よりは感触が良くなっている。また、支払い内容からみても少しずつ希望が持てるようになっている。
		レジャー施設	周辺にアウトレットモールが新規オープンするため、相乗効果により利用客が増加することを期待している。
	住宅販売会社	都市銀行の金利引下げにより、住宅ローンを借りる人が増加すると思われる。	
	企業	水産業関係者	暖流系の海流が出始めており、大漁が期待できる。
		製造業（電気機械器具）	取引先の状況や購入先の営業担当者から判断すると、やや良くなっていると思われる。
		非製造業（建設業）	消費税の動向によっては、多少の民間工事の動きがあると思われる。
		非製造業（金融業）	一部の業種において、ボーナス支給額が前年比で増加するなど、消費意欲が感じられる。
		非製造業（不動産業）	顧客との打合せの中で、金利上昇や消費税増税についての話題が多くなり、物件購入時期を決める要素となりつつある。
		非製造業（情報処理サービス）	現在商談レベルであるものが受注に結びついてくるとされる。
	変わらない	家計	スーパー
スーパー			消費税の増税にもよるが、消費は今の状態で進むと思われる。野菜や水産物は中国の影響で量の確保が難しい状況であり、高値になるものと思われる。
コンビニエンスストア			景気が回復する要因がない。
コンビニエンスストア			業務縮小や閉鎖といった話をよく耳にすると、とても快方に向かっているとは思われない。また、夏の天候やサッカーワールドカップの話題性が消費行動を大きく左右すると感じられる。
衣料品販売店			日立市や水戸市方面に足を伸ばす客が増加している。
自動車販売店			県北地域では、目立った都市開発の動きがないので、変化はないと思われる。
レストラン			客の様子からは、変化がないように思われる。
和食食堂			道路事情が変化しても企業関係の景気が回復しないと現状のままであると思われる。
観光型ホテル			客は自分の満足することには支出するので悪くはならないと思われる。
観光型ホテル			日帰り宴会、宿泊とも例年通りの予約状況である。
旅行代理店			県北地域においては、好調な企業が見当たらない。

(1) 県北地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	買物客の利用数にも変化がなく、先行き明るい材料は見当たらない。
		タクシー運転手	日立市は、企業城下町であり、企業関係の利用客に依存している。しかし、合併等で規模縮小の方向にある企業もあるため、良くなると思われぬ。
		ゲームセンター	一般客が減少している。また、工場の人員及び労働時間の削減並びに海外への移転の話などがあり、地域の活性化が期待できない。
		理・美容店	ボーナスが入る時期であるが変化はないと思われる。
		理・美容店	現状に変化を与える程の事業やイベントがないため変化はないと思われる。
		クリーニング店	景気が良いという話があまりない。
	企業	製造業（食品）	石油製品の値上がりが続いている。
		製造業（一般機械器具）	変化しているような話が聞かれない。
		製造業（電気機械器具）	先行きにおいても、良い話も悪い話も聞かれない。
		製造業（電気機械器具）	非鉄金属類の材料費が15%～30%上昇しており、利益を圧迫している。また、他の材料費も上昇傾向にあり、消費が抑えられているように感じられる。
		製造業（電気機械器具）	原油高や競争の激化により、引き続き厳しい状況であると思われる。
		製造業（電気機械器具）	現状から判断すると、悪くなると思われぬ。しかし、受注単価が低下しており、原油価格高騰の懸念もある。
		製造業（輸送用機械器具）	中国産を中心としたニッケル、クロム等の希少素材の値上りを製品価格に転嫁できない状況が続くと思われる。
		製造業（電気機械器具）	現在と同じ計画である。
		非製造業（建設業）	やや良くなっている業種や地域もあるが、そうでないところには未だに不安感が根強い。全体的にはさほど変化はないと思われる。
	雇用	学校就業関係者	高校生に対する求人が昨年と同程度であると思われる。
		求人開拓員	大手メーカーの業績はアップしているものの、中小協力会社までは波及していないようである。波及するまでには半年はかかるようである。
		求人広告	増産や増設は一時的なものという声が多い。
公共職業安定所		管内主要企業の業況調査においても、先行きについては厳しい見方を変えておらず、雇用人員についても過剰感が増す見方もある。また、原油価格の高騰による利益減少で、製造業や運輸業においては厳しい見方をしている企業もある。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	違法駐車取締まりの民間委託が始まり、摘発を恐れているためか商店街に止める車の数がめっきり減少し、来客者数の減少を招いている。
		ガソリンスタンド	県北地域の物販業は良い方向ではない。
		小売業（酒類）	夏場は海水浴やイベントなどが多くなるが、財布のヒモが固く消費に回らないと思われる。特に、増税のためタバコの売上げに影響すると思われる。
		スナック	ボーナスの効果を期待したが、売上げはむしろ減少している。
		タクシー運転手	7月、8月はお盆などにより工場の休業日が多くなる。
		レジャー施設	遠方からの客が減少すると思われる。
	企業	林業関係者	梅雨から夏場にかけて生産調整に入るので引合いはないと思われる。
雇用	人材派遣業	ピークは過ぎたと思われる。	
悪	家計	パチンコ店	良くなる要素が見当たらない。

(2) 県央地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良 く	家計	住宅販売会社	金利上昇が止まらず、駆け込み需要があると思われる。
	雇用	求人開拓員	7月にニューポートひたちなかファッションクルーズがオープンする。夏のボーナスが消費に回り経済効果が期待できる。また、建設会社の求人が増加している。
や や 良 く な っ て い る	家計	商店街代表者	空き部屋が多かった隣接のテナントビルに最近入居が相次ぎ、全て埋まった。新たに入居したのは新規の事業所とのことである。少しずつではあるが、景気が良くなっていく表れではと思われる。
		百貨店、総合スーパー	全国的な景気回復ムードが消費に対する意識の向上に繋がると思われる。
		農産物直売所	夏から秋にかけて、果物や茸など単価が高く人気のある商品が出てくる。冷夏等のマイナス要因がなければ、やや良くなっていると思われる。
		割烹料理店	7月から9月は生ビールの売上げが多くなる時期なので期待している。
		レジャー施設	天候次第ではあるが、急激な伸びは期待できない。ただし、近辺に大型ショッピングセンターがオープンするので集客には期待している。
	企業	製造業(精密機械器具)	3月決算の顧客から、新年度予算に沿った引合い・受注が期待できる。
		非製造業(広告代理業)	サービス業の販売実績が比較的好調なので、宣伝広告を増やす動きが見られる。大手に限るが、夏のボーナスの増加により、さらなる消費増が見込まれる。
	雇用	人材派遣業	大型ショッピングセンターが立続けに新店したことにより、消費者の購買意欲は刺激されている。これらの商業施設を中心に雇用も促進され、景気回復に繋がっていくと思われる。
		公共職業安定所	有効求人倍率が前年同月比で3ヶ月連続改善しており、雇用情勢に明るさが見られる。
	変 わ ら な い	家計	百貨店、総合スーパー
スーパー			ここ数年、一日当たりの客単価が横這いであり、先行きも変化はないと思われる。
スーパー			消費税増税の話が出てきている。
コンビニエンスストア			現在の売上げ及び買上点数から見ると、先行きも変化はないと思われる。
自動車販売店			ボーナス時期が来て期待しているが、前年より車市場が落ちている。先行き変化はないと思われる。
スーパー			付近に相次いでマンションが建設される。
ファミリーレストラン			景気が回復するようなイベントがない。
レストラン			ボーナスは期待できそうにないとの話を聞く。景気はまだまだ良くならない状況である。イベント商品も安くお得感がないと予約に結びつかない。
都市型ホテル			宴会などの予約状況を見ても、昨年を上回るような状況にはなっていない。
観光型ホテル			株価や企業業績に先行き不安感がある。中小企業の景気回復がもう少し先になることなどを考えると、しばらくは足踏み状態であると思われる。
タクシー運転手			マイカーの普及により、高齢者を除いてはタクシーの必要性を感じなくなっている。客を確保するためには、さらなるサービスが必要であると感じられる。
ドライブイン			売上の的にも良くなる気配が感じられない。
ドライブイン			現状からみて、悪くなることはあっても、良くなっているとは思われない。
観光名所			夏に向けて予約が増加してはいるが、例年並みである。天候による影響を受けやすい時期であるため、長梅雨や台風などが影響する虞がある。
ゴルフ場			予約状況は好転しているが、7月から適用される特別優待券制などの影響で収益の伸びは期待できないと思われる。
ゲームセンター			景気の回復状況及び個人の消費動向に今後も変化はないと思われる。
理・美容店			3ヶ月サイクルの客が多い。5月の売上げやお盆と重なることを考えると、引き続き来客が見込まれる。
理・美容店			大企業は景気が良くなったと言われているが、小さな店は景気が一段と悪くなっている。
建築設計事務所			短期間では変化はないと思われる。

(2) 県央地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	企業	製造業(食品)	季節的要因はあるものの、大きな売上げの増加は見込めない。
		製造業(食品)	消費については、必要なものしか購入しないような慎重かつ堅実な姿勢は崩れないと思われる。
		製造業(出版・印刷業)	原油価格高騰の影響で原材料の紙の値上げが表明されている。このため、収益の圧迫は避けられない状況であり、売上げのさらなる上昇はあまり望めない。
		製造業(出版・印刷業)	目立った要素が見当たらない。
		製造業(金属製品)	値下げ要求があり苦労しているが、価格の変化がなければ引き続き良いと思われる。
		製造業(一般機械器具)	自動車、建設機械関連の受注は増加しそうであるが、他は不調である。
		非製造業(輸送業)	引合いはあるものの、単価が伸びていない。
		非製造業(金融業)	金利の上昇や消費税増税の懸念など、売上げに繋がる材料に乏しく、積極的かつ旺盛な資金需要は少ないと思われる。
		非製造業(不動産業)	客の様子から、今後も大きな消費は見込めない。
		非製造業(コンサルタント業)	マーケットに大きな変化はないと思われる。
		非製造業(情報処理サービス)	先行き不透明感から様子見に止まっており、大きな動きはないと思われる。最近の株価下落傾向が景気の足を引っ張るのではと懸念している。また、ゼロ金利政策の解除や自民党総裁選などの動向が市場に影響を与えらると思われる。
雇用	求人広告	人材不足のようではあるが、売上げが伸びないため現況で対応せざるを得ない状況のようである。	
	学校就業関係者	9月の自民党総裁選挙の結果が景気に影響する可能性はあるものの、おそらくは現状維持であると思われる。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	客は大型店開店の情報を耳にすると買控えをするため、ひたちなが市に出店するショッピングセンターの影響を受けると思われる。
		スーパー	原油高の影響でやや悪くなっていると思われる。
		専門スーパー	4月からの売上げの推移を見ても、良くなるとは思われない。
		専門スーパー	石油関連の値上げが懸念される。資材関係の値上げも一部始まっており、今後も続くようであれば、景気に影響すると思われる。
		タクシー運転手	夏の行楽シーズンが終了し、人の動きが静かになると思われる。
悪く	家計	タクシー運転手	飲食店通りに通行人が全くおらず、営業回数が減少している。
	企業	製造業(土石製品)	受注の目処が立っていない。

(3) 鹿行地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良			
やや良くなかった	家計	小売業（金物店）	鉄鋼関連企業に納品しているため、売上げが伸びている。
		商店街代表者	大企業や都市部では景気が改善されているようなので、地元の景気も改善されることを期待している。
		農産物直売所	昨年より忙しいという話をする客が多くなってきた。
		家電販売店	新築を予定している客の下見が増加しており、夏以降の売上げが期待できる。
		専門スーパー	企業業績の回復により、個人消費がアップすることを期待している。
		観光型ホテル	予約数が多少増加している。
		タクシー運転手	買物客が多くなってきたように思う。
		洋食食堂	15ヶ月連続で、売上げが前年を上回っている。
		クリーニング店	コタツ布団や敷布団、毛布などのセールを行うので、取引量は増加すると思われる。また、晴天になれば、飲料関係が動くと思われる。
	企業	農業関係者	お盆の需要期に入るため、野菜類の売行きが期待できる。
		製造業（食品）	漁も始まり、また、ギフトシーズンにも入るため、多少荷動きが期待できる。
		製造業（印刷業）	客の様子は多少良くなってきているように感じる。
		製造業（飼料製造）	養鶏業界の回復が見込まれるため、多少活気が戻ることが期待される。
		非製造業（輸送業）	製品単価の問題ばかりではなく、各業界での資本投資も含めて、売っていくという意気込みが感じられる。貨物に関しては、動きの強さを感じる。
		非製造業（不動産業）	金融機関の営業利益が過去最高になってきている。
	雇用	人材派遣業	夏のボーナスシーズンで金が動く時期となるため、これに連動して、製造業での求人が期待できる。
		学校就業関係者	昨年に比べ求人が増加しているようであり、景気はやや良くなっていると思われる。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			ガソリン価格や金利の上昇などの負担増により、全体的に景気の上昇感が感じられない。
スーパー			酒、タバコ税の増税懸念の影響もあり、客単価は今後も伸び悩むと思われる。
コンビニエンスストア			天候や景気に影響を受けるが、今のところ好転する前兆が見られない。
コンビニエンスストア			生活に車が必要なので、ガソリン価格の高騰が影響し、売上げ増を期待するのは難しい。
書店			良くなる要因も悪くなる要因も見当たらない。
スナック			人の動きがない。
観光型ホテル			消費単価の推移から判断して変化は見込めない。
小売業（菓子販売店）			厳しい状況が続くと思われる。
割烹料理店			例年通り、それ程忙しくはないと思われる。
ゴルフ場			業界全体において予約時期が遅くなっており、判断が難しいが、変化はないと思われる。

(3) 鹿行地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理	由	
変 わ ら な い	家計	パチンコ店	急激に変化するような様子は見られない。		
		日本料理店	暖かくなったが、客の出が悪く、活気が感じられない。		
		理・美容店	特に目立った動きがない。		
		住宅販売会社	金利上昇の不安から、住宅購入を検討する傾向は、今後も続くと思われる。		
		住宅販売会社	金利の上昇や消費税率の上昇、ローン控除特例の廃止などに伴う駆け込み需要も考えられるが、大きくは変わらないと思われる。		
		ドライブイン	一部では、景気回復の兆しが報じられているが、一般市民の景気が目立って回復するには、更に時間がかかると思われる。		
	企業	製造業（窯業・土石製品）	現在の株価下落の影響が、今後国内景気に少なからず出るとされる。また、製紙会社の製品値上げにより、原料や燃料としている企業の便乗値上げが懸念される。当社においては、公共事業が伸び悩んでいるため、販売面で厳しい現状にある。		
		製造業（食品）	天候次第ではあるが、変化はないと思われる。		
		製造業（金属製品）	急に悪くなるとは考えられず、このまま推移すると思われる。		
		製造業（電気機械器具）	例年9月は秋需で良くなるが、先行き良い声は聞かれない。		
		製造業（化学工業）	更なる原油高騰による影響が懸念されるが、販売量も伸びており、しばらく大きな変化はないと思われる。		
		非製造業（金融業）	経営破綻状態の企業も見受けられ、景気回復の兆しは感じられない。		
		非製造業（金融業）	良くない状態の中で、株価が下落している。		
	雇用	民間職業紹介業	求人依頼は今後も増加傾向で推移するものと思われるが、求職者数は現在と変わらないため、マッチングはそれ程増加するとは思えない。		
		公共職業安定所	9月から10月は新規卒者の募集応募が始まるが、一般求人は、重化学工業においては原油高の影響があり、また、食料品店においては、売上げが伸びず人件費の切下げを検討している状況であるため、動きは鈍いと思われる。		
		求人開拓員	原材料価格の値上がりなどにより、先行きが不透明なため、雇用面では現状維持と思われる。		
	やや悪くなっている	家計	食料品販売店	競合店の出店が予定されており、その影響を受けるとされる。	
			自動車販売店	チラシの量を増やしても来客数に変化がない。また、販売台数は横這いであるが、軽自動車や小型車が多く、普通車以上が伸び悩んでいる。	
タクシー運転手			あやめ祭りが終わり、やや悪くなるとされる。		
タクシー運転手			あやめ祭りが終わり、やや悪くなるとされる。		
パチンコ店			ガソリンなど、物価の上昇が加速している。		
企業		製造業（化学工業）	最近、倒産情報が多いように思われる。		
		非製造業（住宅設備施工業）	様々な面で値上げが多くなるのではと懸念している。		
悪	家計	室内装飾業	以前は次男、三男が分家して新たに家を建てていたが、今はその子どもがいないため、新築が少ない。		

(4) 県南地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
良	家計	農産物直売所	農産物の価格動向にもよるが、一年で一番の活性時期になるため、すべての業種に波及すると思われる。
やや良くなる	家計	スーパー	客からは悲観的な声は聞かれず、大量買いの傾向が見られる。
		スーパー	たばこ税の増税が雑貨の売上げに影響することが懸念されるものの、引き続き売上げの伸びが期待できる。
		スーパー	中元商品のメーカー、問屋とも今年の夏は積極的に営業をして売込みに力を注いでいる。また、店舗も売場面積を増やしている。
		コンビニエンスストア	給料日後の反応は良く、消費欲は向上傾向にあると思われる。
		家電販売店	本当に欲しいと思う商品に支出するといった傾向はしばらく続くと思われる。
		小売業（食料品）	団塊の世代が退職しているのではしばらくは景気が良い状態が続くと思われる。
		都市型ホテル	打合せにおいて、企業相手では単価を上げられないが、個人相手では単価を上げやすくなっており、今後やや良くなるが見込まれる。
		旅行代理店	秋口は順調に予約の申込みがあると思われる。
		旅行代理店	客によって内容は違うものの、昨年よりアップすることを期待している。
		ゴルフ場	予約が好調であり、社用などの大口客が増加している。
		ゲームセンター	夏休みを迎え、消費が増加すると思われる。
		理・美容店	単価が高い高齢者の客が増加している。また、マンション建設により居住者が増加傾向にある。
つてい	企業	製造業（食品）	中元の時期となり商品の動きがある。また、研究学園駅前を中心に大型スーパーやホームセンターが開店し、明るいムードになっている。
		製造業（食品）	夏休みにかけて売上げが伸びると思われる。
		製造業（食品）	中元時期となるため景気が良くなっていると思われる。
		製造業（食品）	消費の上向きが反映されると思われる。
		製造業（一般機械器具）	採用広告が増加している。
		非製造業（建設業）	民間では500万円以下の営繕工事が圧倒的に多い状況ではあるが、見積が増加しているので、成約に至る確率も高くなると思われる。
		非製造業（建設業）	請負価格は依然として厳しいものの、進出企業の設備投資意欲は旺盛であり、見積の引合いも多い。成約に至る物件も数件あり、工事受注は拡大傾向にある。
		非製造業（建築設備業）	物価が上昇する前に設備の更新をしようとする動きが出てくることを期待している。
		非製造業（輸送業）	利益は薄いですが、増産体制に入った企業もあり、荷動きは良くなる傾向にある。
雇用	雇用相談員	円高、原油高、素材高の影響により大企業も前期のような利益は享受できず、中小企業にしわ寄せがくると考えられる。仕事量の割には利益が出ない状況が続くと思われる。一方、雇用環境は相変わらず良く、求人しても人が集まらない状況である。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	余計な商品は購入しないと思われる。一方、価格が高くても価値ある商品は売れている。
		自動車販売店	家を購入したので車までは購入できないといったことを聞くと、長期的には良くなるのかもしれないが、3ヶ月では変化はないと思われる。
		農産物直売所	農産物は天候に大きく左右されはするが、好材料が見当たらず大きな伸びは期待できない。また、落ち込みもないと思われる。
		ガソリンスタンド	つくば市と比べると明るい話題がない。
		洋食食堂	相変わらずアルコール類の売上げが伸びていない。仕入れ先の酒屋との取引額は一時期の半分以下である。
		和食食堂	昨年は猛暑であったが、今年は期待できず、売上げが伸びる要素がない。

(4) 県南地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	5月末から6月初旬の乗客数が伸びていない。
		ゴルフ場	全体的には良くなってきていると思われるが、しばらくはこの状態が続くと思われるので変化はないと思われる。
		レジャー施設	ここ半年、悪天候の影響でレジャー施設を避ける傾向にあり、状況が改善されるとは考えにくい。
	企業	農業関係者	米作地帯であり、米価下落の予想から良くなっているとは思われない。
		製造業(食品)	新規取引で売上げの増加が見込めるものの、主要取引先においては売上げが減少しており、販売費及び管理費は増加傾向にある。
		製造業(一般印刷業)	夏季は毎年売上げが落ちるが、例年と同様であると思われる。
		製造業(コンクリート製造業)	業界全体のパイが縮小する中、製品単価が上昇しない限り向上くとは思われない。
		非製造業(不動産業)	良かったり悪かったりであり、平均すると変わらないと思われる。
		非製造業(金融業)	昨年未頃から大手企業を中心として景気回復感があるが、中小企業や個人にはその実感が乏しい状況である。
	雇用	人材派遣業	特に大きな増員がないので、このまま推移していくと思われる。
求人広告		余裕を持って金を使うような動きはあまり感じられず、今後もそれ程変化はないと思われる。	
公共職業安定所		今後も、雇用情勢は横這いで推移すると思われる。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	原油高により物価が上昇すると思われる。
		寿司店	あらゆるものが値上がりしている。特に、一部の魚類においては、昨年と比べて価格が倍になっている。
		都市型ホテル	近隣にオープンしたホテルの影響により、今後も稼働が悪くなると思われる。
		パチンコ店	検定切れにより、スロット等の人気機種が撤去されるので、やや悪くなっていると思われる。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	総裁選などもあり、先行き不安定である。
悪く	家計	商店街代表者	道路交通法の改正により今後も車の客が来なくなるとされる。
	企業	製造業(金属製品)	依然として原材料価格の高騰が続いているが、ユーザーへ価格転嫁できない状況にある。

(5) 県西地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理由
良	企業	製造業（化学工業）	パブ的な受注の様相を呈しており、今後在庫調整の可能性はあるが、当面はフル生産が続く見通しである。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	冷夏にならなければ良くなると思われる。
		スーパー	夏のボーナスやお盆商戦にかけて、悪くなる要素はあまりないと思う。
		家電販売店	夏のボーナスにより多少は良くなると思われる。
		都市型ホテル	サッカーワールドカップや夏休みに期待している。
		建築設計事務所	相談件数の増加により、今後、実施設計、監理等契約において忙しさが予想される。
	企業	製造業（石材業）	墓石関係はこれから9月にかけてが最盛期となるので良くなっていると思われる。
		製造業（石材業）	8月、9月は晴天が多くなるため、経済が活性化するとと思われる。
		製造業（金属製品）	新規の引合い件数が増加している。
		非製造業（不動産業）	金利、住宅ローン金利ともに上昇傾向にあるため、客にとっては買い時感があるように思われる。
	雇用	人材派遣業	例年通り良くなると思われる。
変わらな	家計	スーパー	今年に入り、景気に変化がなく、先行きも変わらないと思われる。
		コンビニエンスストア	消費行動が変化するような要因がない。
		コンビニエンスストア	客の利用価値を上げていく必要があるが、客の判断基準が幅広くっており、一極集中の囲い込みは難しくなっている。
		専門スーパー	客は最安値の店舗を把握しており、品質よりも価格を重視する傾向が強い。
		和食食堂	固定客が多いため変化はないと思われる。
		和食食堂	全体的に、客足は伸びていると思われるが、大型店内の外食店舗に客を取られるため横這いであると思われる。
		和食レストラン、割烹	政局に変動がなければ変わらないと思われる。
		旅行代理店	地元の商店主や社長からは良い話が出てこないが、社員の動きは悪くはない。
		タクシー運転手	昨年より良くなるはなっておらず、引き続き前年比95%位で推移するものと思われる。
		タクシー運転手	もう少し実感が湧くような変動がない限り変わらないと思われる。
		タクシー運転手	中元シーズンにより地元商店街に活気が戻ってくれることを期待したいが、良い時と悪い時の差が大きく、あまり期待はできない。
		ドライブイン	夏休みに向け人の動きが増してくることを期待しているが、地元には大きな観光地が少ないため来客は例年並みと思われる。
		ドライブイン	テレビや新聞などでは景気が上昇していると言われているが、現実としてはまだ先のことと思われる。
		パチンコ店	季節的な来客数の減少は農繁期が終わるまで続くと思われるが、景気に左右されて客数が変動するとは考えにくい。
		レジャー施設	当施設には農産物直売所や体験農園もあるため、野菜の値動きが気になる。5月は日照時間が短く野菜価格が上昇した。また、石油製品の値上がりによる物価上昇も懸念される。
		理・美容店	来店サイクルが長くなっている。
		理・美容店	月によって売上げに上下はあるものの、年間の売上げは昨年と変わらない。
住宅販売会社	現在、集客が厳しい状態であり、今後も同様であると思われる。		

(5) 県西地域【先行き】

(- : 回答が存在しない。 : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	理 由
変 わ ら な い	企業	農業関係者	原油高などが、経費の増加する要因となっている。
		農業関係者	主婦層においては、食料品、衣料品の衝動買いは決してしない。
		製造業（印刷業）	中小企業においても格差は拡大している感があるが、良くなっている企業と悪くなっている企業を平均して見ると変化はないと思われる。
		製造業（一般機械器具）	今まで取引がなかった企業から新規の受注があったが、ここ2ヶ月程はなくなってしまった。
		非製造業（金融業）	設備投資の資金需要もなく、景気は横這いと思われる。
		非製造業（広告業）	仕事量は増加してくると思われるが、材料費の値上がりが続くため景気に変化はないと思われる。
	雇用	求人広告	サービス業においては、募集が減少している。
		公共職業安定所	電気機械関係においては引き続き好調な動きをしているものの、自動車関連の製造業においては落ち着いている。
		学校就業関係者	燃料価格が高騰している。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	ボーナス時期になるが、勝ち組と負け組の差が拡大し、消費が落ち込むと思われる。
		スーパー	国の増税策に対して、消費者はシビアになっており、余分なものは購入せず、店を比較して上手な買物をする人が増加している。大企業の給与は良いかもしれないが、中小企業の社員はむしろ苦しくなっている。
		自動車販売店	今年度は新型車種の投入もないため販売見通しは良くない。
		農産物直売所	原油価格の高騰や株価低迷によりやや悪くなるとと思われる。
		ガソリンスタンド	全体的に暗い話しか聞かれない。
		和食食堂	魚介類、油、割り箸などの値上がりが目立ち、粗利の低下が大きくなってきている。
		都市型ホテル	原油価格の高騰により、原材料価格が上昇し影響を受けている。業種によってはかなり差が出てきている。
		ゴルフ場	株価が下落すると思われる。
		クリーニング店	夏物等に期待したいが、家庭で処理できるものが多いため、やや悪くなっていると思われる。
		企業	製造業（食品）
製造業（電気機械器具）	客からは先行き不透明であるとの話がよく聞かれる。		
製造業（印刷業）	原材料の値上げが予想されるものの、製品価格に転嫁できる見込みはない。むしろ、依然として値下げの圧力が強く、収益の悪化が予想される。		
非製造業（建設業）	鉄鋼や塩ビ関係が特に値上がりし、販売価格に大きく影響すると思われる。		
非製造業（コンサルタント業）	原油高騰が収まらなければ、体力のない中小零細企業は益々厳しくなるとと思われる。		
雇用	就職相談員	ガソリン価格や石油価格の高騰により、原材料価格が上昇しているようであり、先行きは不安である。	
悪			

景気の判断理由

3 その他の意見

(1) 県北地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家	スーパー	子供用品に対する金の使い方は良くなっている。
	スーパー	店舗の改装をする企業が多い。消費ニーズがあると考えているためか、積極的に売込みをする姿勢が見られる。また、メーカーの政策がフィットしたのか、新車を購入する社員が多い。
	コンビニエンスストア	夏のボーナスが増加しており、製造業の景気は回復しているようである。
	コンビニエンスストア	市町村間の地域格差が拡大しているように感じられる。
	衣料品販売店	客が退職すると、婦人衣料の購入量は急に減少する。
	家電販売店	デジタル関連商品の単価が上昇していることから、高額であっても良い物や欲しい物は購入する傾向にあり、消費意欲に衰えは見られないと思われる。
	自動車販売店	新規開店した飲食店へ客が流れ始めている。
	小売業（酒類）	同業者の廃業が目立つ。大型チェーン店やスーパーとの競争が激化している影響が大きい。
	小売業（靴製品）	付加価値が高い商品であれば、多少高額であっても購入される傾向が見受けられる。
	レストラン	近所のデパートが8月に再開するので客が戻ってくるのではと期待している。
計	居酒屋	企業の接待需要は増加しているが、曜日による来客数の差が大きい。また、二次会でスナックを利用する客が増加している。
	スナック	歓送迎会などがない限り飲む機会は減少していると思われるが、若者は比較的飲む回数が多いように感じる。また、従業員が若く営業時間が長い店、飲み放題の店及び居酒屋などは繁盛しているように感じられる。
関	和食食堂	毎年、市民球場は高校野球や秋の文化祭で賑わうが、茨城ゴールデンゴールズの試合がある時は特に売上げが大きく伸びる。
	観光型ホテル	二極化の時代だと思われる。客は、本物であればいくら高額であっても求める。
連	観光型ホテル	道路や施設が混雑することを嫌う傾向があるため、観光地といえども安心できなくなっている。
	タクシー運転手	他事業所から地元の事業所に100名程異動になったが、利用頻度が少ないので景気には影響はないと思われる。
	タクシー運転手	地元で衣料品関係の店がオープンする予定なので期待している。
	ゴルフ場	晴天にもかかわらずプレーヤーがいない時が多くなっている。
	レジャー施設	無料イベントの集客率が上昇した。
	レジャー施設	以前に比べ、求人募集しても反応が鈍く、人員確保ができない。
	理・美容店	1,000円カットの店が出来てから地元の理容店が3軒廃業している。
	理・美容店	閉店した店舗跡地に、秋頃新規店舗が開店する予定であるとの話を聞く。新聞にも求人のチラシが入ってきており、近隣市町村からの集客力に期待している。
クリーニング店	女性会員専用の簡易型フィットネスクラブが大変盛況とのことである。女性の美に対する商売は好調のようである。	
企業	水産業関係者	不漁が続くと金融機関は貸し渋りをするため資金繰りが非常に厳しい状態となっている。
	製造業（食品）	スーパーなどでトイレトペーパーの値上げと品不足が目立つ。
	製造業（電気機械器具）	新聞・マスコミなどでは景気が良くなったと言われているが、普段の生活の中ではそれ程実感がない。
	製造業（電気機械器具）	大型店舗の開店やマンション建設が多くなった。また、飲食店に活気が感じられる。
	製造業（電気機械器具）	一次材料費の上昇がアセンブリ用のパーツにも影響が出始めており、景気のブレーキを感じる。また、見積件数も横這いであり、景気の上昇は感じられない。
	製造業（電気機械器具）	近隣の工業団地に動きが出てきた。

(1) 県北地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	製造業（電気機械器具）	最近，中国生産の対象になった商品もあるが，今後も取引先の考えにはその傾向がある。
	非製造業（建設業）	各地で商工会の合併があり，地域の景気にも動きが見られるのではと思われる。
	非製造業（不動産業）	市街地での商業施設の建設計画が数ヶ所ある。
雇用 関連	学校就業関係者	企業は2007年問題の対策を検討しているようではあるが，技術者及び技能者育成のための求人がなく，具体的な動きは見られない。
	求人開拓員	地元の大手スーパーが閉店しており，ますます寂しくなっている。
	求人広告	県央地域における大型商業施設の開発により，地元企業は人材流出の危機感を持っている。

(2) 県央地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見	
家	商店街代表者	長期の好景気という報道があったが、周辺ではまったくそのような実感はない。しかし、一部の業種では好景気のようなものである。社会全体が好景気を感じるといほどではないが、景気が上向きなのは事実と思われる。	
	商店街代表者	6月から違法駐車取締りが民間委託された。重点取締り地区では車を止めただけでキップを切られてしまうといった風評被害もあり、中心市街地には客が来なくなっている。	
	百貨店、総合スーパー	消費者は購入しないことが前提ではなく、必要に応じて金のかけ方を使い分けている。	
	百貨店、総合スーパー	景気は上昇傾向であると言われているが、決してそうは感じられず、一部の企業だけが良いのではないかとの話を聞く。	
	専門スーパー	小売業に関しては、水戸地区はオーバーストア状態である。今後は、力のある企業しか生き残れず、中小の小売店はジリ貧状態になって行くと思われる。	
	家電販売店	地方においては全く活気が感じられず、年金暮らしの高齢者や子育て世代にとっては、ますます暮らしにくくなると思われる。	
	自動車販売店	原油価格が安定せず、色々な面で不安が残る。	
	農産物直売所	最近では売れる高品が高品質なものに移行しているように感じられる。品質を高めるといった付加価値の加え方によって、景気も良くなるのではと思われる。	
	専門スーパー	原油価格高騰の影響で、トイレトペーパーやティッシュペーパーなどの動きが非常に良い。今後、生活必需品への反動が懸念される。	
	計	割烹料理店	飲酒運転の罰則が強化されたこともあり、ここ5、6年前から夜の営業が厳しくなっている。
レストラン		少人数の祝い事に関しては、単価が少し上昇している。	
都市型ホテル		宴会などでのコンパニオンの利用が減少している。	
観光型ホテル		必要なものやサービスには多少高くても支出するが、衝動買いなどの傾向は少なくなっている。増税などに備え可処分所得を消費に回すのを控えているような気がする。	
タクシー運転手		水戸京成百貨店が新装開店したが、周辺に歩行者があまりおらず、景気回復の動きは見られない。	
タクシー運転手		タクシーでの長距離客が激減している。	
タクシー運転手		タクシー業界では景気回復は感じられないが、世間の景気は良いのではと思われる。	
タクシー運転手		管内にホテルがオープンしたが、車での利用が多く、タクシーはほとんど利用されない。	
ドライブイン		依然として、売上げは前年を下回っている。客の様子からは、今後も厳しいと思われる。	
レジャー施設		燃料油高騰の影響で、利用回数を抑えるという話題が多数出ている。	
連	レジャー施設	土産品などの購入額は若干回復の兆しがあるが、飲食関係の消費は落ちている。施設内への持込みが影響していると思われる。	
	理・美容店	低価格のためか、店内販売品の売行きが良かった。	
	理・美容店	1,000円カット店は忙しいとの話を聞く。	
	企業	製造業(出版・印刷業)	ニュースで見られるように、中央と地方、大企業と中小企業の格差は広がっているように思える。最近、取引先がM&Aで買収されてしまった。
		製造業(土石製品)	景気が良くなってきていると言われているが、依然として、安い中国製の製品のみで国内産の需要は良くなっていない。
		製造業(金属製品)	以前と比べ求人が難しくなってきた。
		製造業(一般機械器具)	タクシーに乗車した際に、動きがない、仕事が少ないとぼやいていた。
		製造業(精密機械器具)	全体的な傾向として、引き合いから受注に至るまでの期間が長くなっている。また、購入調査のためにデモ機による体験などを希望する客が増加している。
		非製造業(輸送業)	観光地やハイキング地において、中高年グループと親子連れが目立っている。
		非製造業(金融業)	違法駐車取締りの民間委託により、配達業者や買物客の減少などの影響が出ている。

(2) 県央地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業関連	非製造業(広告代理業)	ここ数年、チラシやパンフレットなどにかかる予算を抑える傾向が強かったが、良い広告を作ることにより集客が良くなる傾向が多く見られたため、改めて販売促進ツールの見直しをする企業が多くなった。
	非製造業(コンサルタント業)	先行きのインフレ、金利上昇に反応し、不動産に動きが出ている。
	非製造業(情報処理サービス)	雇用情勢は、売り手市場が強まり、中小企業においては人材確保が難しくなっている。
雇用関連	人材派遣業	製造業においてはリストラが一段落した様子である。また、携帯電話のナンバーポータビリティにより通信業は一時的に賑わいを見せると予想される。人材派遣業においても、時給アップが認められてきており、底は抜けた感がある。
	求人開拓員	貨物トラックの走行が減少しているように感じられる。ガソリン価格の高騰で経営が圧迫されているため、運送会社の駐車場で稼働していない車を多く見かける。
	求人広告	建築関係で一部忙しいようであるが、価格を下げられてしまうため全く利益が出ないという話が聞かれる。
	公共職業安定所	景気回復や団塊世代の大量退職を見越した採用の増加、主要な就職先である製造業の採用の増加により、高校生の採用者数が昨年と比べ2.8ポイント増加している。
	学校就業関係者	今国会で改正都市計画法が成立し、まちづくり3法の改正が終了したようである。これによって、県内でも進行している市街地の空洞化にストップがかかるのか、地元でもダイエーやユニーの入っていたビルの再利用と絡んで注目される場所である。

(3) 鹿行地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家 計 開 連	小売業（金物店）	トイレットペーパー類の価格が上昇している。また、売行きが良いのは高額商品か低額商品であり、二極化が進んでいると思われる。
	商店街代表者	経費節減のため、軽自動車通勤する人が増加している。
	商店街代表者	今後も、小規模事業者の廃業に歯止めは掛からないと思われるが、意欲的で前向きな経営をしている事業者は売上げが伸びている。
	商店街代表者	実際の景気よりも期待感が先走っているような感がある。
	コンビニエンスストア	世間の動向は短絡的であり、大きな動きは見込めないとされる。
	コンビニエンスストア	高額でも価値のある商品には手が出ているようだ。
	農産物直売所	新車を購入する人が見られるようになってきた。
	家電販売店	客は、金利の上昇や消費税増税を気にしているようだ。地域的には、アルバイトの時給が上昇傾向にある。また、エアコン用配管や電線等の工事材料価格も上昇している。
	自動車販売店	ガソリンが値上がりしている影響なのか、それとも客が高齢化しているためなのか、大型車から軽自動車への買い替えが目立っている。
	専門スーパー	大型店舗の進出が目覚ましい。
	小売業（薬品店）	団塊世代の退職と少子高齢化により、消費は確実に落ちるとされる。
	スナック	近隣に大型スーパーが開店し、駐車場は満車の状態である。
	観光型ホテル	団体予約客との打合せの際、ほとんどが料金サービスを要求する。
	小売業（菓子販売店）	旧商店街の状況はますます厳しく、店舗数の減少に歯止めが掛からない。一方、外周道路には、新店舗や飲食店の出店が活発になりつつある。
	タクシー運転手	工事関係車両の出入りが多く、道路が混雑している。人の動きも多い。
	観光名所	最近、週末に外食をする家族が増加したように思われる。
	洋食食堂	市町村合併により、人の動きがあり、利用回数が増加している。また、個人の客がプライベートで金を使う傾向が出てきたように思う。
	割烹料理店	高額な料理などを注文する客が増えてきた。
	クリーニング店	自営業の景気は、まだまだ良くならないと思う。
	クリーニング店	5月の悪天候により、野菜価格が下がらない。天候不順により、農家では仕事がはかどらない様子である。
サービス業	海外進出企業の需要が伸びていると感じられる。	
住宅販売会社	安い商品に不安を感じ、高くても丈夫なもの、品質の良いものを選ぶ人が多くなってきたと感じる。	
住宅販売会社	消費税率の上昇を気にする人が最近増えてきた。また、物価上昇による将来不安を漏らす人も多い。	
ドライブイン	米は年間を通して安定した売行きである。	
企 業 開 連	製造業（食品）	地方には、まだ景気の上昇傾向が見られない。消費力も弱いように思う。
	製造業（化学工業）	高額な化粧品などは売れているが、野菜などの食品は値段を安くしないと売れないというニュースをテレビで見た。実際、自分も欲しいものであれば値段が高くても購入し、食品などはなるべく安いものを購入している。商品によって価格意識に格差が生じていると感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	周辺の派遣業者からは、以前と比べ派遣契約者が減少しているという話を聞く。その分、就職者が増加していることからみても、求職率が高くなったと思われる。
	製造業（食品）	コンビニートの定期修理期間に入り、工事関係者が多くなった。また、外国人労働者も昨年に比べ増加している。
	製造業（金属製品）	新車と思われる車を良く見かけるようになった。

(3) 鹿行地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	製造業（電気機械器具）	最近、周囲の荷動きが少し悪くなってきているように感じられる。
	製造業（飼料製造）	景気の良い業種と悪い業種、中央と地方の格差が拡大しているように感じられる。景況感がちぐはぐで、全体には波及していないと思う。
	製造業（化学工業）	採用計画や社員への教育投資など、将来に向けた人と技術の確保がよく話題になっている。
	非製造業（住宅設備施工業）	仕事の有る人と無い人がはっきりしてきている。
	非製造業（輸送業）	保管貨物及び運送に関する競争が激化している。細かいところまで気を配り、荷主に対して安全で確実な対応が必要だと思われる。
	非製造業（金融業）	原材料価格の上昇を価格に転嫁できず、利幅の縮小が進んでおり、経営体質の更なる改善が求められている。今後、二極化がより鮮明になってくるものと思われる。
	非製造業（金融業）	ハウスメーカーによる住宅建設が増加しているので、地元職人の仕事が減少している。
	非製造業（不動産業）	最近、周辺に大型店舗が多く出店している。
雇用 関連	民間職業紹介業	求人企業は景気の回復とともに増加してきているが、企業の直接雇用も増加している。従って、紹介業、派遣業においては、スタッフや社員の確保、またスキルの高い人材の確保と育成が最大の課題である。
	学校就業関係者	新しく進出する企業があるので期待したい。但し、石油や鉄鋼の価格が上昇しており、景気への影響が懸念される。
	求人開拓員	鹿嶋地区において20～30区画の土地整理が終了し、大手企業の社員が次々と新築の家を建てている。

(4) 県南地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家 計 関 連	スーパー	パートやアルバイトの募集をしても、一般層、大学生とも集まらない。景気が良くなると採用が難しくなるため、人員不足に悩まされている。
	スーパー	天候不順で農作物の収穫が遅れ気味である。
	スーパー	大手パルプメーカーの値上げ発表により、紙製品の売上げが前年比150%と大幅な伸びを示している。
	コンビニエンスストア	タバコ税増税により駆け込み需要が発生している。
	コンビニエンスストア	価値のある商品、サービスに対しては、積極的に購入、利用しようとする姿勢があり、価格で判断する人は少ない。
	衣料品販売店	衣料品の場合、安くて何枚も購入するというより、デザイン、ファッション性の高い商品や気に入った商品を購入する客が多くなっているように感じられる。
	家電販売店	つくばエクスプレスの沿線開発が急ピッチで進行している。
	自動車販売店	商売をしているところでは、経費は高くなっているが、売価は低下している等、良い話より悪い話の方が聞かれる。
	農産物直売所	切り花の売上げが落ち込んでいる。
	ガソリンスタンド	つくば市は、つくばエクスプレスの関係で土地の動きが良い。また、当市に本社を移転する企業が多く見られる。
	小売業（食料品）	流通業は人材不足の現状にある。景気が悪い時は人材が集まるが、逆に景気が良い時は集まりにくいという特徴がある。
	洋食食堂	中心街の空洞化は回復しつつあるが、郊外では4階建てビルに1店舗しか入っていないような現状である。
	洋食食堂	主婦層は選んで買物をするようにしている。また、就職がしやすくなっている。
	寿司店	医療費負担の増加、年金の受給条件の変更などにより、高齢者の財布のヒモが固くなっている。
	和食食堂	つくばエクスプレス周辺は期待できると思われる。
	都市型ホテル	折込み広告や求人広告が増加したように感じる。また、業務拡大や急募等サービス業や製造業は忙しいと思われる。
	旅行代理店	つくばエクスプレスの開業により、学園都市及び筑波山方面への旅行者が増加している。
	タクシー運転手	これから先も良いのは大企業だけであるとの話を聞く。
	理・美容店	中高生が携帯電話に掛ける金額が多過ぎるように思われる。
理・美容店	地元では、カレーで街興しにと各店がオリジナル商品に力を入れている。また、今年3月からは、まちづくり活性化バスが運行され好業績であるなど活気が肌で感じられるようになってきた。	
建築設計事務所	周辺は東京の業者で賑わっている。また、地場産業以外の業者が目につく。	
企 業 関 連	農業関係者	文庫本の価格が異常に高くなっている。また、原油高によりガソリン価格も高止まりとなっており景気が良くなっている感がない。金持ちとそうでない者の二極化が顕著になっているように思われる。
	製造業（食品）	オーバーストアによる競争がさらに激しくなり、取引条件が厳しくなりつつある。
	製造業（食品）	研究学園駅周辺は住宅建築ブームである。学園都市全体で新築マンションが多く、景気が上昇しているように見えるが、地元の建築関係者からは景気が良かったという話は聞かれない。
	製造業（食品）	近隣の機械製造業はかなり景気が良いようであるが、食品業界は横這い状態である。
	製造業（食品）	売上げの伸びと平行して、操業要員の採用も増加している。
	製造業（一般印刷業）	営業の際、つくばエクスプレスを利用する頻度が増加した。
	製造業（窯業・土石製品）	中元商戦があまり盛り上がっていないように感じられる。
製造業（一般機械器具）	正社員の採用が増加しているように思われる。	

(4) 県南地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関 連	製造業(金属製品)	ガスの契約単価が大幅に上昇している。
	非製造業(建設業)	決断に時間がかかる会社が多い。2000万円位の工事でも役員の下承を取るのに2週間以上かかっている。また、飲食店では60歳以上の年金受給者が細々と1000円~1500円位飲んで帰るのをよく見かける。
	非製造業(建設業)	地元には好調な工場があり、相乗効果で他の工場も生産が上向いているようである。また、飲食店も上向きの傾向である。
	非製造業(建設業)	つくばエクスプレスが開業し、駅前開発が進んでいるところであるが、施工は殆どが県外業者であり、地元業者は皆無である。地元業者が建設工事に携わるようになれば、景気の上昇を感じられるようになると思われる。
	非製造業(建築設備業)	業界内でホームページを新設する店舗が増加した。
	非製造業(不動産業)	つくばエクスプレス関連のニーズが多い。
	非製造業(金融業)	マンション建設が急激に増加してことにより、一部の地域において、不動産価格が高騰している。
雇 用 関 連	雇用相談員	かつては、新聞の折込み広告において求人募集すると応募者が殺到していたが、ここに来て極端に減少している。
	求人広告	次々に新しい店が出店しており、人の流れが偏っているように感じられる。
	学校就業関係者	学卒者に対する求人が増加している。人員を増やしたいという企業が多く、問合わせも増加している。

(5) 県西地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
家 計 関 連	商店街代表者	低所得者であっても、日常生活を切り詰めて旅行や家電といった大きな買い物をしているようである。
	スーパー	県内外のスーパーマーケットは大手企業の寡占化がさらに進み、中小スーパーは生残りをかけた環境になる。スーパーに限らず小売業全体がそうになると雇用の問題が出てくると思う。
	スーパー	フリーターが増加しているように感じる。スーパーマーケットでは、価格を重視する客と品質を重視する客で二極化している。
	コンビニエンスストア	小売業においてはヒット商品が減少しており、消費者のトレンドに合った商品や選択の幅を持った商品の開発が求められている。
	家電販売店	4月、5月と上昇していたガソリン価格が、このところ低下し落ち着いてきた。
	衣料品販売店	5月は母の日というポイントマーケットがあったが、昨年と比べるとプレゼントの単価が落ちている。
	農産物直売所	ガソリン価格の値上げが一般消費者に大きな影響を及ぼしていると感じられる。
	専門スーパー	原油価格の高騰により、プラスチック製品及びビニール製品の店頭価格が上昇している。また、銅製品価格も上昇が続いている状態である。
	和食食堂	レジャー費は伸びているようであるが、食費には変動がない。
	和食食堂	大型ショッピングセンターの出店が多過ぎるように思われる。
	和食食堂	最近、少しずつゴルフでの利用客が増加してきた。
	和食レストラン、割烹	勝ち組、負け組がはっきりしてきたと思われる。
	都市型ホテル	業種を問わず、新規参入の計画を耳にする。厳しい競争が始まるように思われるが、地元には活力が生まれると思われる。
	旅行代理店	ホテルの予約状況を見ると、高料金もしくは低料金の部屋が多く、両極端になってきているように感じる。
	タクシー運転手	製造業の売上げは良いという話を聞くが、我々サービス業はまだまだ我慢が必要な状況である。
	タクシー運転手	上昇と下降の差が大きく、景気は不安定であると思われる。
	ゴルフ場	ニュースなどでは景気回復を謳っているが、身近には感じられない。
	パチンコ店	募集してもパートやアルバイトの確保が難しくなっている。雇用に対する需要は高まりつつあり、長期的にみると景気は上向きになっているのではと思われる。
	理・美容店	景気が良いのは大企業であり、個人企業の景気は良くないとの話を聞く。また、理美容業界においても低迷が続いており、各店とも来店サイクルを短くする努力をしているようである。
クリーニング店	景気が良い企業に勤務している者は、忙しくて休暇も取れない状況であるが、給与に反映されていないとの話を聞く。また、スーパーなどではパート、正社員ともノルマが厳しいが、辞めても再就職は難しいとのことである。	
住宅販売会社	下館エリアにおいては閉店する店が多い。	
建築設計事務所	地方都市のせいかわ、小規模商店等の仕事上の話し合いが一切ない。全体的な不況というより、構造的な問題においての格差が激化するように思われる。	
企 業 関 連	農業関係者	建設会社の仕事が減少している。
	製造業（食品）	景気回復傾向で求人も引く手あまたと言われているが、実態はそんなことはない。求人広告を出せば多数の応募があり、職業安定所からの求職者紹介も増加している。
	製造業（印刷業）	全国的にシャッター通りが増加している。地元の商店街においても空き店舗が増加し、何とか頑張っているのは2、3店舗である。
	製造業（石材業）	昨年に比べ明るい兆しが感じられる。
	製造業（石材業）	最近、開店及び閉店するコンビニエンスストアをよく目にする。業態が同じで差別化ができないこと、誰でも出店がしやすいことが原因と思われる。生き残りには他社にできないことをすることが基本であると感じる。
製造業（金属製品）	素材コストが上昇し、コスト管理が難しい状況である。	

(5) 県西地域 【その他】

分野	業種・職種	その他の意見
企業 関連	製造業（一般機械器具）	同業者からは、親会社で70%の仕事をしてしまうので、仕事が回って来ないとの話を聞く。
	非製造業（金融業）	利用客の減少により、3月末で東京行き的高速バスが廃止となったが、つくばエクスプレスにより利便性は向上している。しかし、経済的波及効果による資金需要は見られない。
	非製造業（広告業）	職種によっては景気が良くなっていると思われる。
	非製造業(コンサルタント業)	地元の中小零細企業では、新聞等で報じられているような景気の良い話は一切聞かれない。
雇用 関連	人材派遣業	食品会社で突然解雇があった。また、電話関係の会社でも仕事量が減少している。
	求人広告	求人広告を出しても人が採れない状況であるため、企業などは求人を出さないようになっている。
	学校就業関係者	プラスチック金型の受注量は昨年より増加しているものの、単価が低いようである。そのため、早期対応での生産となり残業が多いとの話を聞く。